

# 小山市公共建築物長寿命化計画

## － 個別施設設計画 －

---

令和3(2021)年度—令和37(2055)年度

令和2(2020)年3月 策定  
(令和5(2023)年3月 改訂)

栃木県小山市

## 目次

<u>第1章 長寿命化計画について</u>	1
1 計画の背景	1
2 計画の目的	1
3 計画の位置づけ	1
4 計画期間	2
<u>第2章 公共施設の現状把握</u>	3
1 対象とする公共施設	3
2 劣化状況の把握	8
3 劣化状況の評価方法	9
(1)劣化状況調査	9
(2)劣化状況調査結果	12
(3)現地の劣化状況	13
<u>第3章 公共施設整備の基本的な方針</u>	15
1 改修等の基本的な方針	15
(1)目標耐用年数の設定	15
(2)改修周期の設定	17
2 改修等の整備水準	18
(1)耐久性の向上	18
(2)機能性の向上	18
(3)環境性の向上	18
3 維持管理の項目・手法等	19
<u>第4章 改修等の費用試算</u>	21
1 従来型の更新費用(耐用年数 60 年で建替えとする試算方法)	21
(1)試算方法(試算ソフト単価による試算)	21
(2)シミュレーション結果(従来型)	22
2 長寿命化型の更新費用(目標耐用年数 80 年で建替えとする試算方法)	23
(1)長寿命化の判定フロー	23
(2)長寿命化対象施設(LCC 単価による試算)	24
(3)長寿命化対象施設(試算ソフト準拠単価による試算)	25
(4)改築・統廃合対象施設(試算ソフト単価による試算)	26

---

(5)シミュレーション結果(長寿命化型) .....	26
3 従来型と長寿命化型の費用比較 .....	27
<b>第5章 実施計画.....</b>	<b>28</b>
1 改修等の優先順位の考え方.....	28
2 計画期間におけるコストの見通し.....	28
3 実施計画 .....	30
<b>第6章 長寿命化計画の継続的運用.....</b>	<b>37</b>
1 推進体制等の整備 .....	37
2 フォローアップ .....	37
<b>用語解説.....</b>	<b>38</b>

#### 【計画の見方および注意事項】

##### 1. 更新費用について

本計画では、将来の修繕、改修や更新(建替え)にかかる費用を総称して「更新費用」という言葉で表しています。これは、公共施設の維持更新経費を簡便に推計するために総務省から発布された「公共施設等更新費用試算ソフト」において「更新費用」という言葉が用いられていたことと、これまで本市が策定した「小山市公共施設等総合管理計画」や「小山市公共施設等マネジメント推進計画」においても「更新費用」という言葉を踏襲して使用してきたことによるものです。

##### 2. 図表データの基準日等について

公共建築物に係るデータの基準日は、平成 31(2019)年 3 月 31 日時点(2018 年度末)です。

経過年数は平成 30(2018)年度末時点における年数を表しています。

【計算式:2018-建築年度=経過年数】(具体例:2018-1988=30)

##### 3. 数値の合計について

施設の延床面積など、小数点以下を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

##### 4. 本計画対象外施設について

①本市または県において既に個別施設計画を策定済または策定予定の施設(101 施設)  
学校・市営住宅・公園施設・上水道施設・下水道施設・小山市役所本庁舎・県営施設

②リース、他団体管理施設 (3 施設)

神鳥谷庁舎・分室Ⅲ・間々田乙女排水機場

③学校内施設 (8 施設)

若木小学童保育館・小山第一小学童保育館・小山第一小第二学童保育館・小山第二小学童保育館・大谷東小第二学童保育館・羽川西小学童保育館・こどもふれあい教室(小山第一小)・いきいきふれあいセンターあゆみ(小山第一小)

④既に売却済・譲渡済または譲渡予定の施設 (6 施設)

城東保育所・城北集会所・馬廻集会所・鉢形南集会所・間々田 6 丁目集会所・泉ヶ丘集会所(譲渡予定)

## 第1章 長寿命化計画について

### 1 計画の背景

本市は、人口の増加や行政需要の拡大等を背景に、昭和40(1965)年代から昭和50(1975)年代にかけて、多くの公共建築物と道路・上下水道などのインフラ施設(以下、「公共施設等」という。)の建設・整備を行ってきました。

一方、近年は、少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口の減少による歳入減および高齢者人口増が見込まれる中、今後多くの公共建築物が老朽化に伴い建替えや修繕・改修に多額の経費が必要になることが予測され、適切な維持管理や更新等を行い、良好な状態を保持しながら将来に引き継いでいくことが大きな課題となっています。

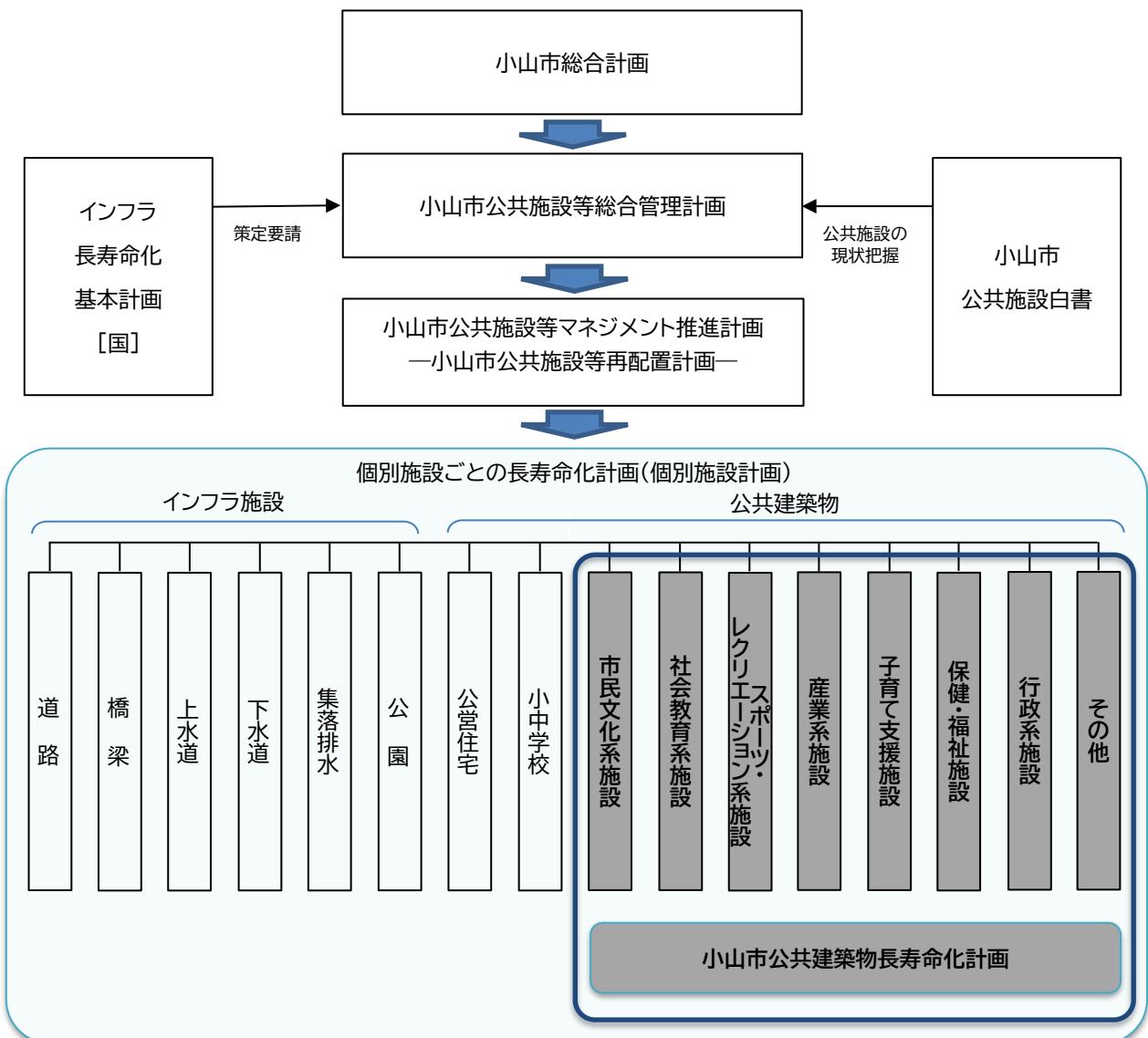
### 2 計画の目的

小山市公共建築物長寿命化計画は、「小山市総合計画」、「小山市公共施設等総合管理計画」および「小山市公共施設等マネジメント推進計画」を上位計画として、学校施設や市営住宅等以外の公共建築物を対象に、安全安心な施設環境の確保を考慮した大規模修繕・長寿命化を目指した計画的な修繕や改修を進めることによりコストの縮減と平準化を図ることを目的に、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を個別施設ごとに定める個別施設計画として位置づけるものです。

### 3 計画の位置づけ

小山市では、国が平成25(2013)年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画」および「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について(平成26年4月22日 総務第74号)」を受けて、平成28(2016)年3月に今後の公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための指針となる「小山市公共施設等総合管理計画」策定とともに、平成29(2017)年7月には、公共施設等の現状や維持管理・運営にかかるコスト、利用状況等について一元的に捉え、将来の更新費用の試算結果などをまとめた「小山市公共施設白書」を作成し、平成30(2018)年1月には、公共施設等の質と量の最適化を図るために基本的考え方や方向性等を示した「小山市公共施設等マネジメント推進計画」を策定し、課題解決のための取り組みを進めているところです。

### 【小山市公共建築物長寿命化計画の位置づけ】



#### 4 計画期間

計画期間は令和3(2021)年度から令和37(2055)年度までの35年間とします。

なお、施設の劣化状況や社会経済情勢等に対応するため、必要に応じて適宜見直しを行います。

## 第2章 公共施設の現状把握

### 1 対象とする公共施設

本計画で対象とする施設は、「小山市公共施設等マネジメント推進計画」に示す公共施設のうち、既に売却や譲渡をした施設等や個別施設計画を策定済または策定予定の施設を除き、平成 31(2019)年3月31日までに新たに設置した施設を加えた187施設とします。

表 2-1 対象とする公共施設の一覧

大分類	小分類	No.	施設名称	建築年度	構造	棟数 (棟)	延床 面積 (m <sup>2</sup> )
市民文化系施設	集会施設	1	中央公民館	1978	鉄骨鉄筋コンクリート	1	1,749
		2	大谷公民館	1980	鉄骨造	3	623
		3	生井公民館	1987	鉄骨造	4	551
		4	寒川公民館	1986	鉄骨造	4	544
		5	豊田公民館	1983	鉄骨造	4	652
		6	中公民館	1979	鉄骨造	4	567
		7	穂積公民館	1982	鉄骨造	1	390
		8	旧桑公民館	1981	鉄骨造	1	569
		9	絹公民館	1985	鉄骨造	4	609
		10	小山市小山城南市民交流センター	2012	鉄筋コンクリート	1	1,726
		11	小山市間々田市民交流センター	2008	鉄筋コンクリート	1	1,945
		12	小山市桑市民交流センター	2015	鉄骨造	1	2,457
		13	小山市まちなか交流センター	2012	鉄筋コンクリート	1	335
		14	男女共同参画センター	1976	鉄筋コンクリート	1	239
		15	御殿町自治会倉庫	1968	鉄骨造	1	19
		16	須賀町公民館	1966	コンクリートブロック	1	201
		17	間々田4丁目公民館	1984	木造	1	147
		18	長者町自治会公民館	2004	木造	1	166
		19	楓山公民館	1988	木造	1	60
		20	思水ヶ丘公民館	1974	木造	1	157
		21	網戸中坪集会所	1975	木造	1	198
		22	押切集会所	1978	木造	1	149
		23	中里集会所	1976	木造	1	178
		24	旧川入集会所	1977	木造	1	179
		25	堀の内集会所	1978	木造	1	149
		26	旧向野北集会所	1981	木造	1	181
		27	旧壹沢東部集会所	1990	木造	1	178
		28	東出井集会所	1976	木造	1	218
		29	小野塚イツ子記念館	1872	木造	2	230
		30	生井分室(旧生良公民館)	1971	木造	1	81
	小分類計					48	15,447
社会教育系施設	文化施設	31	文化センター	1978	鉄骨鉄筋コンクリート	1	7,633
		32	小山市埋蔵文化財センター	1974	鉄骨造	3	362
	小分類計					4	7,995
	大分類計					52	23,442
図書館	図書館	33	中央図書館	1992	鉄筋コンクリート	1	5,199
		34	中央図書館小山分館	1978	鉄骨鉄筋コンクリート	1	376
		35	中央図書館間々田分館	2008	鉄筋コンクリート	1	92
		36	中央図書館桑分館	2015	鉄骨造	1	145
	小分類計					4	5,812

大分類	小分類	No.	施設名称	建築年度	構造	棟数 (棟)	延床 面積 (m <sup>2</sup> )	
社会教育系施設	博物館等	37	博物館	1981	鉄筋コンクリート	1	1,908	
		38	車屋美術館	1911	木造	5	826	
		39	寺野東遺跡資料館	2004	鉄筋コンクリート	1	407	
		40	生涯学習センター	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	1,456	
		41	飯塚分室(旧羽川小学校飯塚分校)	1962	鉄筋コンクリート	2	255	
		42	おやま未来開運塾	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	48	
		43	おやま本場結城紹クラフト館	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	227	
		44	宇都宮大学おやまサテライトプラザ	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	177	
		45	国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館	2018	鉄筋コンクリート	1	609	
		46	桑・蚕・繭・真綿かけ・糸つむぎのさと	2019	木造	1	122	
小分類計						15	6,035	
大分類計						19	11,847	
スポーツ・ レクリエーション系 施設	スポーツ施設	47	弓道場	1965	木造	1	135	
		48	武道館	1971	鉄骨造	1	482	
		49	勤労者体育センター	1974	鉄骨造	1	1,135	
	レクリエーション 施設	小分類計						
		50	小山市勤労青少年ホーム	1972	鉄筋コンクリート	1	1,133	
		51	小山市開運スポーツ合宿所	1973	鉄骨造	1	735	
		小分類計						
		大分類計						
		52	小山南工業団地管理棟	2008	木造	1	94	
		小分類計						
		大分類計						
学校教育系施設	学校	53	小山市不登校適応指導教室	2012	軽量鉄骨造	2	304	
		54	小山市外国人児童生徒適応指導教室	2009	軽量鉄骨造	1	368	
	その他教育施設	小分類計						
		55	青少年相談室	2007	軽量鉄骨造	1	109	
		小分類計						
		大分類計						
		56	中久喜保育所	1975	鉄骨造	2	560	
		57	桑保育所	1963	木造	2	309	
		58	出井保育所	1977	鉄骨造	1	445	
		59	もみじ保育所	1974	鉄骨造	1	588	
子育て支援施設	幼保・こども園	60	間々田北保育所	1978	鉄骨造	2	568	
		61	若木保育所	1976	鉄骨造	1	531	
		62	やはた保育所	1997	鉄筋コンクリート	1	1,493	
		63	城北保育所	1980	鉄筋コンクリート	1	768	
		64	網戸保育所	1975	鉄骨造	1	462	
		65	絹保育所	1992	鉄骨造	2	532	
		小分類計						
		66	小山第三小学童保育館	2004	軽量鉄骨造	1	115	
		67	小山城南小学童保育館	1996	軽量鉄骨造	1	68	
		68	小山城南小第二学童保育館	2012	木造	1	99	
幼児・児童施設		69	小山城北小学童保育館	1999	軽量鉄骨造	1	97	
		70	小山城北小第二学童保育館	2009	軽量鉄骨造	1	101	
		71	若木小第二学童保育館	2009	軽量鉄骨造	1	101	
		72	若木小第三学童保育館	2014	木造	1	109	
		73	東城南小学童保育館	2019	軽量鉄骨造	1	217	
		74	小山城東小学童保育館	1994	軽量鉄骨造	1	81	
		75	小山城東小第二学童保育館	2009	軽量鉄骨造	1	101	
		76	小山城東小第三学童保育館	2015	木造	1	99	
		77	大谷東小学童保育館	1990	軽量鉄骨造	1	81	
		78	大谷東小第三学童保育館	2016	木造	1	79	

大分類	小分類	No.	施設名称	建築年度	構造	棟数 (棟)	延床 面積 (m <sup>2</sup> )
子育て支援施設	幼児・児童施設	79	大谷北小学童保育館	1993	軽量鉄骨造	1	81
		80	大谷北小第二学童保育館	2009	軽量鉄骨造	1	101
		81	間々田小学童保育館	1991	軽量鉄骨造	1	81
		82	間々田小第二学童保育館	2005	軽量鉄骨造	1	97
		83	間々田小第三学童保育館	2008	鉄筋コンクリート	1	70
		84	間々田小第四学童保育館	1991	軽量鉄骨造	1	82
		85	乙女小学童保育館	1988	軽量鉄骨造	1	81
		86	乙女小第二学童保育館	2010	軽量鉄骨造	1	101
		87	間々田東小学童保育館	2001	軽量鉄骨造	1	92
		88	間々田東小第二学童保育館	2008	軽量鉄骨造	1	99
		89	間々田東小第三学童保育館	2010	軽量鉄骨造	1	101
		90	間々田東小第四学童保育館	2013	木造	1	99
		91	羽川小学童保育館	1987	軽量鉄骨造	1	83
		92	絹義務学童保育館	2019	軽量鉄骨造	1	101
		93	旧梁小学童保育館	2009	軽量鉄骨造	1	101
		94	小山市駅南児童センター	1979	鉄骨造	1	330
		95	小山市城北児童センター	1981	鉄骨造	1	499
		96	子育て支援総合センター	2012	鉄筋コンクリート	1	890
		小分類計				31	4,437
		大分類計				45	10,693
保健・福祉施設	高齢福祉施設	97	いきいきふれあいセンターみつわ	1962	鉄筋コンクリート	1	150
		98	いきいきふれあいセンター寒川	1977	木造	1	147
		99	いきいきふれあいセンターなまい	1971	木造	1	121
		100	いきいきふれあいセンター桑	1995	木造	1	244
		101	高齢者サポートセンター大谷	1990	木造	1	83
		102	小山市ふれあい健康センター	1998	鉄筋コンクリート	3	1,968
		小分類計				8	2,713
行政系施設	消防施設	103	地域活動支援センターラベンダーハウス	1966	木造	2	387
		104	地域活動支援センター小山こすもす園	1992	軽量鉄骨造	1	82
		小分類計				3	469
		105	小山市保健・福祉センター	1982	鉄筋コンクリート	1	3,272
		106	保健センター分室	1962	鉄筋コンクリート	4	931
		小分類計				5	4,203
		大分類計				16	7,385
行政系施設	消防施設	107	小山市役所(大型バス車庫)	1971	鉄骨造	1	95
		108	小山市役所(マイクロバス車庫)	1988	鉄骨造	1	72
		109	勤労者福祉会館	1976	鉄筋コンクリート	1	239
		110	小山東出張所	1977	鉄筋コンクリート	1	1,314
		111	小山市健康医療介護総合支援センター	2014	鉄骨造	1	2,213
		小分類計				5	3,933
消防施設	消防施設	112	消防本部庁舎	2013	鉄骨造	5	4,627
		113	大谷分署	1983	鉄筋コンクリート	2	704
		114	間々田分署	1979	鉄筋コンクリート	2	697
		115	豊田分署	1987	鉄筋コンクリート	3	834
		116	桑分署	1985	鉄筋コンクリート	1	502
		117	絹分遣所	2015	鉄骨造	1	643
		118	第1分団1部器具置場	1981	木造	1	40
		119	第1分団2部器具置場	1986	木造	1	40
		120	第2分団1部器具置場	1982	木造	1	40
		121	観晃橋水防倉庫兼第2分団2部器具置場	2002	軽量鉄骨造	1	71
		122	第3分団1部器具置場	1966	コンクリートブロック	1	44
		123	第3分団4部器具置場	1988	木造	1	46
		124	第4分団器具置場	1983	木造	1	40

大分類	小分類	No.	施設名称	建築年度	構造	棟数 (棟)	延床 面積 (m <sup>2</sup> )
消防施設	125 第5分団器具置場			1991	木造	1	53
	126 第6分団器具置場			1992	木造	1	46
	127 第7分団器具置場			1999	木造	1	53
	128 第8分団1部器具置場			1988	木造	1	46
	129 第8分団2部器具置場			1983	木造	1	40
	130 第9分団1部器具置場			1983	木造	1	43
	131 第9分団2部器具置場			2012	木造	1	63
	132 第10分団1部器具置場			2000	木造	1	53
	133 第10分団2部器具置場			2008	軽量鉄骨造	1	71
	134 第10分団3部器具置場			1984	木造	1	40
	135 第11分団1部器具置場			1991	木造	1	53
	136 第11分団2部器具置場			1984	木造	1	40
	137 第11分団3部器具置場			1999	木造	1	53
	138 第12分団1部器具置場			1990	木造	1	46
	139 第12分団2部器具置場			2001	軽量鉄骨造	1	71
	140 第12分団3部器具置場			1989	木造	1	46
	141 第13分団1部器具置場			1997	木造	1	53
	142 第13分団2部器具置場			1982	木造	1	40
	143 第13分団3部器具置場			1985	木造	1	40
	144 第14分団1部器具置場			1987	木造	1	46
	145 第14分団2部器具置場			1985	木造	1	40
	146 第14分団3部器具置場			1992	木造	1	46
	147 第15分団1部器具置場			1987	木造	1	46
	148 第15分団2部器具置場			1989	木造	1	46
	149 第16分団1部器具置場			1987	木造	1	46
行政系施設	150 第16分団2部器具置場			1986	木造	1	46
	151 第17分団1部器具置場			1981	木造	1	40
	152 第17分団2部器具置場			1996	木造	1	53
	153 第17分団3部器具置場			1989	木造	1	46
	154 第18分団1部器具置場			1990	木造	1	46
	155 第18分団2部器具置場			1986	木造	1	40
	156 第18分団3部器具置場			1993	木造	1	53
	157 大行寺水防倉庫			2001	軽量鉄骨造	1	26
	158 水防倉庫第23号			1989	軽量鉄骨造	1	26
	159 水防倉庫第38号			1987	木造	1	26
	160 水防倉庫第40号			1971	木造	1	17
	161 水防倉庫第42号			1988	軽量鉄骨造	1	26
	162 水防倉庫第44号			1984	軽量鉄骨造	1	26
	163 水防倉庫第81号			1989	鉄骨造	1	20
	164 水防倉庫第83号			1965	木造	1	13
その他 行政系施設	165 消防本部島田倉庫			1966	鉄骨造	1	20
	166 消防本部立木倉庫			1966	鉄骨造	1	20
	小分類計					63	10,092
	167 塩沢書類倉庫			1984	軽量鉄骨造	1	788
	168 八幡倉庫			1966	鉄筋コンクリート	1	202
その他	169 黒本倉庫			2006	軽量鉄骨造	1	418
	170 小野塚イツ子遺贈財産(天神町2丁目)			1987	軽量鉄骨造	2	299
	171 小山市文書館			1929	木造	3	154
	172 小山市文書館分室			2007	鉄骨造	1	2,075
	小分類計					9	3,936
大分類計						77	17,961
その他	その他	173 小山市中央公衆便所		1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	38
		174 小山駅東口公衆トイレ		2013	鉄骨造	1	23

大分類	小分類	No.	施設名称	建築年度	構造	棟数 (棟)	延床 面積 (m <sup>2</sup> )
その他	その他	175	間々田駅東口公衆トイレ	2007	木造	1	14
		176	間々田駅西口公衆トイレ	2005	木造	1	14
		177	小山中央公共駐輪場	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	2,573
		178	鶴島道路課資材置場車庫	1985	鉄骨造	1	118
		179	旧思川駅舎	1999	鉄骨造	1	58
		180	とちぎ結婚支援センター小山	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	59
		181	ロブレビル(生涯学習センター等以外)	1994	鉄骨鉄筋コンクリート	1	14,655
		182	道の駅思川	2005	鉄筋コンクリート	2	1,983
		183	絹ふれあいの郷	2005	木造	1	111
		184	やすらぎの森	1997	鉄骨造	3	361
		185	栃木県南地方卸売市場	1993	鉄骨造	18	23,983
		186	旧梁小学校	1984	鉄筋コンクリート	4	3,675
		187	旧延島小学校	1989	鉄筋コンクリート	2	3,217
		小分類計				39	50,882
		大分類計				39	50,882
				総計		258	126,705

※複合施設(同一建物で用途の異なるもの)を別施設としているので実際の棟数の合計とは合致しません。

※男女共同参画センターと勤労者福祉会館は同一建物で施設共有のため、延床面積を半分に按分しています。

## 2 劣化状況の把握

本計画で対象とする 187 施設のうち、次の条件を除いた 22 施設を劣化調査対象としました。

<対象外条件>

- ・経過年数 15 年未満。
- ・延床面積 200 m<sup>2</sup>未満。
- ・木造建築物、プレハブ、倉庫、車庫、区分所有施設。

表 2-2 劣化調査対象施設

No.	施設名称	建築年度	耐用年数 到来年度	経過年数	延床面積 (m <sup>2</sup> )
1	文化センター				
2	中央公民館	1978	2038	40	9,759
3	中央図書館小山分館				
4	生井公民館	1987	2047	31	551
5	寒川公民館	1986	2046	32	544
6	絹公民館	1985	2045	33	609
7	豊田公民館	1983	2043	35	652
8	中公民館	1979	2039	39	567
9	穂積公民館	1982	2042	36	390
10	中央図書館	1992	2052	26	5,199
11	博物館	1981	2041	37	1,908
12	出井保育所	1977	2037	41	445
13	間々田北保育所	1978	2038	40	568
14	やはた保育所	1997	2057	21	1,493
15	城北保育所	1980	2040	38	768
16	網戸保育所	1975	2035	43	462
17	絹保育所	1992	2052	26	532
18	小山市駅南児童センター	1979	2039	39	330
19	小山市城北児童センター	1981	2041	37	499
20	小山市保健・福祉センター	1982	2042	36	3,272
21	小山市ふれあい健康センター	1998	2058	20	1,968
22	小山東出張所	1977	2037	41	1,314

※複数の建物がある場合は最も古い建物の経過年数としています。

### 3 劣化状況の評価方法

前ページにて対象とした施設について、目視による劣化状況調査および評価を実施しました。

#### (1) 劣化状況調査

##### ① 評価基準

各建物の建築部位および設備別に劣化状況の調査を行いました。

部位ごとに、経過年数による評価と目視による評価を使い分けて評価を実施しました。

<経過年数による評価>

部位	評価	基準
外構(地盤、舗装、囲障、擁壁)	A	20年未満
躯体(構造躯体)	B	20~39年
屋根(笠木、屋根椽い)	C	40年以上
外部(カーテンウォール、外部天井、外部雑)	D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象が あるもの
内部仕上(内壁、内部天井、内部開口部、内部雑)		
内部/外部建築(避難出口、階段)		
電気設備(全て)		
機械設備(全て)		

<目視による評価>

部位	評価	基準
屋根(屋根防水、外壁)	A	概ね良好
外部(外部開口部)	B	部分的に劣化 (安全上・機能上、問題なし)
内部仕上(内部床)	C	広範囲に劣化 (安全上・機能上、不具合発生の兆し)
	D	早急に対応する必要がある (安全上・機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

参考:学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(文部科学省)

## ② 劣化度の算定

劣化度とは各部位ごとに評価した4段階の評価を点数に置き換え、建物全体の劣化状況を数値化したものです。早急に対応すべき建物を把握するため、建物がどれだけ安全な状態かを測る健全度ではなく、建物がどれだけ危険な状態になっているかを測る劣化度を算定しました。

### 【劣化度点数の算定方法】

■各部位の劣化状況評価結果を、評価別の点数に置き換えます。劣化状況が悪いものほど点数が高くなります。なお、点数は次ページの詳細部位ごとに算出しています。

評価	A	B	C	D
劣化度点数	10	40	70	100

■部位の劣化が建物全体へ影響を与えるものほど重視をするため、部位ごとに重要度の係数を設定し、劣化度点数に乘じて計算します。重要度係数は以下の4段階で設定します。  
部位ごとの重要度は次ページの表に示します。

判断基準	重要度係数
事後保全でよい	0.25
計画保全が望ましい	0.50
計画保全すべき	0.75
特に安全に関わる	1.00

■計算した劣化度点数を、施設に存在する部位数で除することで劣化度を算定します。この数値が高いほど、劣化していると判定します。

劣化度点数

÷

部位数

=

劣化度

参考:学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(文部科学省)

## 【部位別の重要度係数】

部位		判断基準	重要度係数
外構	地盤	特に安全に関わる	1.00
	空地・通路等	事後保全でよい	0.25
	塀、フェンス等	特に安全に関わる	1.00
	擁壁・掛け等	事後保全でよい	0.25
躯体	基礎	特に安全に関わる	1.00
	鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造		
	木造		
	組積造		
	コンクリートブロック造		
屋根	鉄骨造		
	屋根防水	計画保全すべき	0.75
	笠木		
	ドレーン、樋		
外部	屋根スレート・かわら類等		
	外装仕上げ材等	計画保全すべき	0.75
	カーテンウォール	計画保全が望ましい	0.50
	外部天井	計画保全すべき	0.75
	外部雑	事後保全でよい	0.25
内部	外部開口部	計画保全が望ましい	0.50
	床仕上げ材	事後保全でよい	0.25
	内壁仕上げ材		
	天井仕上げ材		
	内部開口部		
	内部雑		
電気設備	避難経路、階段等	特に安全に関わる	1.00
	通信・情報(防災)	特に安全に関わる	1.00
	電力	事後保全でよい	0.25
	避雷・屋外		
	受変電	計画保全が望ましい	0.50
	発電・静止形電源		
機械設備	中央監視	計画保全すべき	0.75
	空調	計画保全が望ましい	0.50
	換気		
	排煙	特に安全に関わる	1.00
	自動制御	計画保全が望ましい	0.50
	給排水衛生	計画保全すべき	0.75
	消火	特に安全に関わる	1.00
	ガス	計画保全が望ましい	0.50
昇降機その他			

参考:平成17年版 建築物のライフサイクルコスト(財団法人建築保全センター)

## (2) 劣化状況調査結果

劣化状況調査結果は、部位を「外構」「躯体」「屋根」「外部」「内部」「電気設備」「機械設備」の7つに大きく分類してA～Dの4段階評価を実施しました。

表 2-3 劣化状況調査結果

No	施設名称	建築年度	構造	経過年数	延床面積(m <sup>2</sup> )	外構	躯体	屋根	外部	内部	電気設備	機械設備	劣化度
1	文化センター												
2	中央公民館	1978	鉄骨鉄筋コンクリート	40	9,759	C	C	C	B	C	B	B	30.63
3	中央図書館小山分館												
4	生井公民館	1987	鉄骨造	31	551	B	C	B	B	B	B	B	24.82
5	寒川公民館	1986	鉄骨造	32	544	B	B	B	B	B	B	B	25.27
6	絹公民館	1985	鉄骨造	33	609	B	B	A	B	B	B	B	24.15
7	豊田公民館	1983	鉄骨造	35	652	C	B	B	B	C	B	B	27.14
8	中公民館	1979	鉄骨造	39	567	A	B	B	B	B	B	B	23.43
9	穂積公民館	1982	鉄骨造	36	390	B	C	C	B	B	B	B	27.73
10	中央図書館	1992	鉄筋コンクリート	26	5,199	B	B	C	C	B	B	B	26.02
11	博物館	1981	鉄筋コンクリート	37	1,908	C	B	C	C	B	B	B	28.29
12	出井保育所	1977	鉄骨造	41	445	C	C	C	B	C	C	C	42.93
13	間々田北保育所	1978	鉄骨造	40	568	C	C	C	C	C	C	C	45.75
14	やはた保育所	1997	鉄筋コンクリート	21	1,493	D	B	C	B	B	B	B	26.77
15	城北保育所	1980	鉄筋コンクリート	38	768	B	B	B	B	B	B	B	26.15
16	網戸保育所	1975	鉄骨造	43	462	D	C	C	C	C	C	C	46.63
17	絹保育所	1992	鉄骨造	26	532	B	B	C	C	B	B	B	28.03
18	小山市駅南児童センター	1979	鉄骨造	39	330	B	B	B	C	B	B	B	27.20
19	小山市城北児童センター	1981	鉄骨造	37	499	B	B	B	B	C	B	B	26.77
20	小山市保健・福祉センター	1982	鉄筋コンクリート	36	3,272	B	B	D	C	C	B	C	32.46
21	小山市ふれあい健康センター	1998	鉄筋コンクリート	20	1,968	A	B	A	B	A	B	A	8.47
22	小山東出張所	1977	鉄筋コンクリート	41	1,314	C	C	C	C	C	C	C	46.21

※複数の建物がある場合は最も古い建物の経過年数としています。

### (3) 現地の劣化状況

調査を実施した施設の劣化状況の一部を示します。

施設名	写真	状況
文化センター 中央公民館 中央図書館小山分館		地下2階南側外周、外壁(コンクリート打ち放し仕上げ)の一部に、かぶり厚の少ない鉄筋がむき出しえています。
		地下2階西側入り口付近、サッシ廻りの外壁(コンクリート打ち放し仕上げ)にひび割れがあります。
		地下2階西側入り口付近、外壁(タイル)下部の剥離があります。
間々田北保育所		玄関ポーチの天井部分のタイルの一部に浮きがあるため、落下に注意する必要があります。
やはた保育所		外構(北側)コンクリート塀にひび割れがあります。
網戸保育所		門塀(モルタル下地塗装吹付)にひび割れが複数見受けられます。

施設名	写真	状況
網戸保育所		複数の出入り門扉が錆びています。
		屋上パラペットの立ち上がり部の仕上げに浮きがあります。
小山市 保健・福祉センター		屋上的一部分に草が生えています。アスファルト防水玉砂利敷き込みに水が溜り湿地帯になっているので、雨漏りに繋がる可能性があります。
		2F内壁の仕上げに傷みが見受けられます。
小山東出張所		2F バルコニーの排水ドレーンに詰まりが見受けられます。
		2F バルコニーの内側の塗装が劣化剥離しています。

## 第3章 公共施設整備の基本的な方針

### 1 改修等の基本的な方針

財政状況や環境配慮の観点から、計画的な修繕・改修による施設整備を行います。従来の新築、改築を中心とした施設整備(事後保全)から、計画的な修繕・改修による施設整備（予防保全）に切り替えることで建物の長寿命化を図り、財政負担の縮減・平準化を行います。

#### (1) 目標耐用年数の設定

耐用年数には一般的に下記のような考え方があります。

法定耐用年数	減価償却費を算出するために、財務省令「減価償却資産の耐用年数に関する省令」で定められた年数をいいます。
機能的耐用年数	使用目的が当初の計画から変わったり、建築技術の革新や社会的要求が向上して陳腐化したりする年数をいいます。
経済的耐用年数	継続使用するための修繕費その他の費用が、改築または更新する費用を上回る年数をいいます。
物理的耐用年数	建築物の躯体や構造材が物理的あるいは化学的原因により劣化し、要求される性能を下回る年数をいいます。

一般的に耐用年数の長さは「物理的耐用年数>経済的耐用年数>法定耐用年数>機能的耐用年数」の順です。

日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」による鉄筋コンクリート造の主要な建物の目標耐用年数は普通品質で概ね 50~80 年とされています。

建築物の構造		建築物の耐久計画における目標耐用年数	目標耐用年数 (上限値)	目標耐用年数 (平均値)
SRC造 RC造	高品質	80~120年	120年	100年
	普通品質	50~80年	80年	65年
S造	普通品質 S造 t>4mm	50~80年	80年	65年
	軽量鉄骨 LGS造 t>3mm	30~50年	50年	40年
CB造		30~50年	50年	40年
木造		30~50年	50年	40年

「小山市公共施設等総合管理計画」においては、同書に基づき 75 年程度を目標耐用年数に設定することができる（次ページ「目標耐用年数の算定式」参照）ことから、70 年間利用できる施設を目指して長寿命化を行うと設定しましたが、より長く効率的に施設を活用することを目指し本計画においては、長寿命化の目標耐用年数を 80 年とします。

目標耐用年数：80 年

■目標耐用年数の算定式

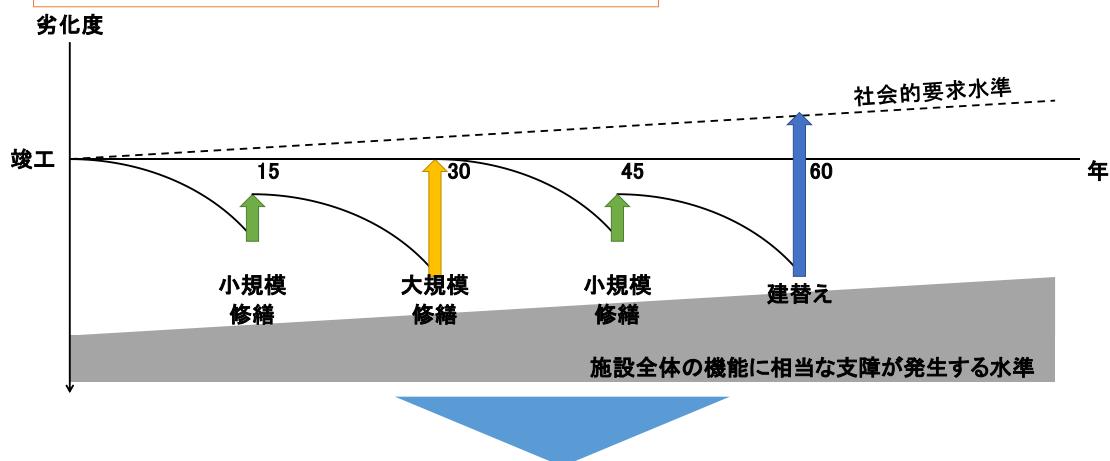
記号	項目	種類による係数	係数等
Y <sub>s</sub>	標準耐用年数	—	60
A	コンクリート種類	普通コンクリート=1.0 軽量コンクリート=0.95	1.00
B	セメント種類	ポルトランドセメント=1.0 高炉セメント A=0.85 高炉セメント B=0.8	1.00
C	水セメント比	65%=1.0 60%=1.2 55%=1.5	1.00
D	被り厚さ	20mm=0.25 30mm=0.56 40mm=1.0 50mm=1.56	0.56
E	外壁仕上げ材	無=0.5 複層塗材=1.0 モルタル 15mm 以上=1.5 タイル=3.0	1.50
F	コンクリートの施工状況	通常の施工=1.0 入念な施工=1.5	1.50
G	建物維持保全の程度	劣化後も修繕しない=0.5 劣化部分を修繕する=1.0	1.00
H	地域	一般=1.0 凍結融解を受ける地域=0.9 海岸=0.8	1.00
Y	目標耐用年数	Y <sub>s</sub> ×A×B×C×D×E×F×G×H	75.6

参考:建築物の耐久計画に関する考え方(日本建築学会)

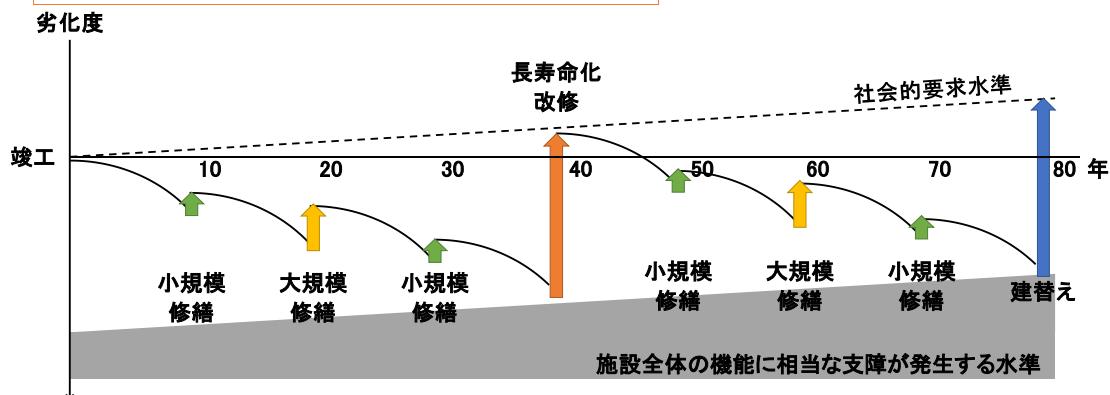
## (2) 改修周期の設定

建物の長寿命化を行うために、計画的な修繕・改修が必要となります。長寿命化の際の改修周期および機能回復・向上のイメージを以下に示します。

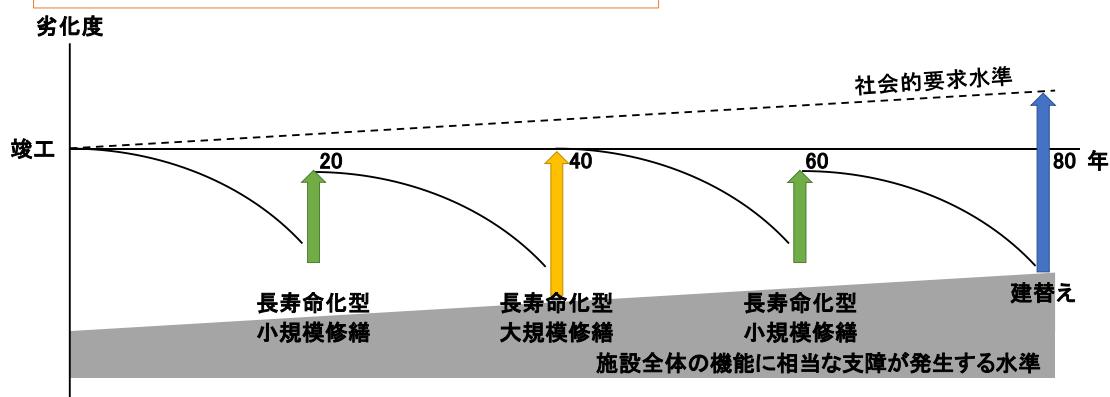
従来のイメージ(試算ソフト単価による試算)



長寿命化のイメージ(LCC単価による試算)



長寿命化のイメージ(試算ソフト準拠単価による試算)



## 2 改修等の整備水準

### (1) 耐久性の向上

安全・安心に使用でき、長く住民に親しまれる施設とするため、屋根・屋上や外部などでは、躯体や建物内部への漏水を発生させないよう防水性および耐久性の高い材料を使用するなど、耐久性の向上に努めることとします。

また、躯体の工事実施段階においては詳細調査等を実施し、ひび割れ対策や中性化対策、鉄筋の腐食対策といった劣化状況に応じた適切な修繕を検討することとします。

### (2) 機能性の向上

急速に進む高齢化、障がい者雇用のさらなる促進、女性の社会進出といった社会の変化に伴う多様性に対応するため、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた機能的な内装や設備を検討することとします。

### (3) 環境性の向上

エネルギー消費の増加を受け、省エネルギー法の改正や建築物省エネルギー法の施策などといった対策強化の方針に対応するため、環境に配慮した省エネ効果の高い設備や、外壁等への断熱性の高い材料の使用、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入などを検討し、省エネルギー化を目指すものとします。

表 3-1 改修時の整備水準例

部位	対応	具体例
躯体	躯体の状況に応じた修繕 (ひび割れ対策、中性化対策)	補修材の注入、表面処理工法、断面修復工法
屋根・屋上	防水性および耐久性の高い材料の導入	ガルバリウム鋼板屋根、屋上断熱アスファルト防水改修
外部	耐久性および断熱性の高い材料の導入	フッ素塗料等 複層ガラス、断熱材
内部	レイアウト変更可能な内装の導入	可動式間仕切り
電気設備	省エネ効果の高い設備の導入、 再生可能エネルギーの導入	電灯のLED化 太陽光エネルギー発電等
機械設備	バリアフリー／ユニバーサルデザイン型の設備 導入、省エネ効果の高い設備の導入	トイレの洋式化、EV設置、ICT対応

参考:共同住宅の再生のための技術の概要(国土交通省)

参考:改修によるマンションの再生手法に関するマニュアル(国土交通省)

参考:省エネ・再エネ東京仕様(東京都)

### 3 維持管理の項目・手法等

長寿命化を図るため、修繕等の工事だけでなく、日常的・定期的な点検を実施し、建物を維持管理していきます。劣化状況等を把握し、効率的な修繕・更新を検討し、計画に反映していきます。

点検種類		点検内容	頻度	担当者
日常的な点検		建物や設備の状況把握、清掃等	常時	施設管理者
定期点検	自主点検	建物や設備の劣化・破損状況の把握	1年に1回	施設管理者
	法定点検	各種法定点検	各種周期に準ずる	有資格者

日常的な点検においては、窓・扉のがたつきや、照明の点灯不良など普段建物を使用している中で生じる不具合の把握や、排水不良の原因となるドレンの清掃などを行います。

自主点検においては、「公共施設劣化調査マニュアル」に基づき、簡易的な目視調査による劣化状況調査票の項目について評価を行います。

図 3-1 自主点検の調査票例

劣化状況調査票(建築)												
点検番号		調査日		所轄		記入者						
施設番号		施設名称		所管部署		電話番号				敷地面積		
所在地										m <sup>2</sup>		
建物情報												
建物番号		建物名称		建築年度		調査項目		チェックポイント		状況等		
構造		建物用途		耐用年数		外観		不具合の有無		評価		
延床面積		m <sup>2</sup>		地上階		外壁仕上げ材等		有無		部別別評価		
調査票		調査項目		チェックポイント		状況等		有無		写真番号		
外観		地盤		地盤		外壁		ひび割れ、欠陥、腐食等の劣化はないか				
外 構 面 調 査	地盤	地盤	地割れ等がないか	□	□	外壁	外壁仕上げ材等	剥落箇所または剥離等、剥離のおそれはないか。外壁が表面と構造と規定された部位に剥離している場合、剥離は常に外壁仕上げ材等に沿っている。	□	□		
			建物周囲に雨水等の滞留跡がないか	□	□	外壁	外壁仕上げ材等	ひび割れ、欠陥、腐食等の劣化はないか	□	□		
	建 築 面 調 査	空地・通路等	舗装面にくぼみや水溜りはないか	□	□	外壁	カーテンウォール	ひび割れ、欠陥、腐食等の劣化はないか	□	□		
			舗装面に割れ、沈下、段差等はないか	□	□	外壁	外壁天井	剥離箇所のクリートや外壁材に剥落や剥離はないか。	□	□		
建 築 面 調 査	壁、フン ス等	壁、フンス等	ひび割れ、破損箇所、地目もろみに異常はないか	□	□	外壁	外部窓	ひび割れ、欠陥、腐食等の劣化はないか	□	□		
		ぐらつき、傾斜等はないか	□	□	外壁	外部天井	剥離箇所のクリートや外壁材に剥落や剥離はないか。	□	□			
	建 築 面 調 査	壁・びかけ等	コンクリート表面にひび割れはないか	□	□	外壁	外部窓	手すり、タラップ(玄関用はしご)にさび、腐食はないか	□	□		
			膨らんだ状態の箇所はないか	□	□	外壁	外部天井	剥離不善、ガタつき等はないか	□	□		
構 造 部 体	基礎	基礎	建物基礎の一部にひび割れ、欠陥等はないか(※基礎判明せずもののみ)	□	□	外壁	外部天井	金属等、樹脂等、さび等がないか	□	□		
		柱及び梁等	コンクリート面に鉄筋露出又は白堊、ひび割れ、欠陥等がないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	剥離不善、ガタつき等はないか	□	□		
		木造の状況	木材に腐朽等はないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	剥離水の痕跡はないか	□	□		
		組積造の状況	れんが、石部分に割れ、ずれ等はないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	内壁の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□		
		コンクリート 構造の状況	コンクリートモルタルに欠落またはブロック積みに変位等はないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	剥離水の痕跡はないか	□	□		
	屋根	鉄骨造の状況	鋼材にさび、腐食等はないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	天井の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□		
		屋根防水	ふくれ、ひび割れ、浮き等はないか。(平面型、バッペト等)	□	□	外壁	天井仕上げ材	コンクリート面に鉄筋露出又は白堊、ひび割れ、欠陥等がないか	□	□		
		笠木	笠木	隣屋根(やらない屋根)の立ち上がりの笠木(天端)部分にひび割れ、浮き、腐食がある。	□	□	外壁	天井仕上げ材	剥離不善、ガタつき等はないか	□	□	
		ドレーベー ク	排水溝や雨樋周辺の破損はないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	内壁の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□		
		屋根材、かわら類	隣まりはなく、排水状態はよいか(清掃状況、植物繁殖の確認)	□	□	外壁	天井仕上げ材	内壁の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□		
屋根材、かわら類	屋根材の亀裂、変形、損傷、さび、腐食はないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	内壁の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□				
	屋根材、かわら類	雨漏りはないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	内壁の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□			
	屋根材、かわら類	雨漏りはないか	□	□	外壁	天井仕上げ材	内壁の仕上げ材について、ひび割れ、破損等がないか	□	□			

図3-2 劣化調査マニュアル例

## 第3章 劣化調査のポイント

劣化調査の際のチェックポイントと事例について部位別に記載します。目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価し、A・B評価を不具合なし、C・D評価を不具合ありとします。一部の文章と事例写真は、文部科学省が編集・発行している「学校施設の長寿命化計画策定に関する解説書」、一般財団法人建築保全センターが編集・発行している「国の機関の建築物の点検・確認ガイドライン」、「川崎市公共建築物点検マニュアル」、「龍ヶ崎市公共施設点検マニュアル」、「貝塚市公共施設点検マニュアル」、「多治見市公共施設点検マニュアル」、「丹波市公共施設点検マニュアル」「大和市公共建築物管理マニュアル」を出典としています。

## 1. 部位別の劣化調査ポイント【外構】

地盤・囲障・擁壁	
①点検項目	
<ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内に凹凸や傾斜、き裂、陥没、隆起等により受け目が発生するなど相対的な著しい段差はないか（舗装部分を除く）。</li> <li>舗装の凹凸、傾斜、陥没や舗装面又は舗装仕上げ材の剥離等の著しい損傷はないか。</li> <li>側溝に著しい傾き、損傷はないか。また、清掃状況は良好か。</li> <li>枠ふた、マンホールなどにがたつきはないか。</li> <li>雨水樹や汚水樹などに排水不良や損傷はないか。また、樹内の清掃状況は良好か。</li> <li>塀、フェンス等にひび割れ、ぐらつき、傾斜はないか。</li> <li>擁壁、がけ等にひび割れ、膨張はないか。</li> </ul>	
②点検留意点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地盤は、著しいき裂、凹凸、傾斜又は排水不良がないことを確認する。</li> </ul>	
③用語説明	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「雨水樹」⇒雨水の屋外排水の合流点・分岐点・起点などに点検や清掃のために設ける樹。コンクリート製や塩化ビニル製のものなどがある。</li> <li>「汚水樹」⇒汚水の屋外排水の合流点・分岐点・起点などに点検や清掃のために設ける樹。コンクリート製や塩化ビニル製のものなどがある。</li> <li>「擁壁」⇒切土あるいは盛土により大きな高低差が生じる場所に土の崩壊を防止するために設置する鉛直壁体構造物。</li> </ul>	

仕様／評価	良好			
	A	B	C	D
地盤	 良好	 部分的に、凹凸、傾斜、陥没等がある。	 広範囲に、凹凸、傾斜、陥没等がある。	 広範囲に、凹凸、傾斜、陥没等があり、地盤の著しい沈下、隆起が確認される等、緊急修繕の必要がある。
囲障	 良好	 部分的に、ひび割れ、破損、ぐらつき、傾斜等がある。	 広範囲に、ひび割れ、破損、ぐらつき、傾斜等がある。	 広範囲に、ひび割れ、破損、ぐらつき、傾斜等があり、倒壊の恐れがある等、緊急修繕の必要がある。

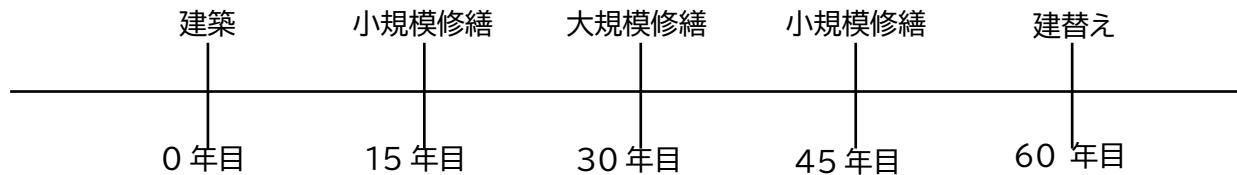
## 第4章 改修等の費用試算

### 1 従来型の更新費用（耐用年数60年で建替えとする試算方法）

「小山市公共施設等マネジメント推進計画」において公共建築物の更新費用を算定した際は、総務省の「公共施設等更新費用試算ソフト」(以下、「試算ソフト」という。)の算出基準を用いて、行いました。

#### (1) 試算方法（試算ソフト単価による試算）

建築物が建てられた年を基準とし、耐用年数の60年後に更新(建替え)を、30年後の中間年に大規模修繕を、15年後と45年後に小規模修繕を実施するものとします。



更新等単価については、試算ソフトに準じて、市民文化系施設等を40万円／m<sup>2</sup>、スポーツ・レクリエーション系施設等を36万円／m<sup>2</sup>、学校教育系施設等を33万円／m<sup>2</sup>、公営住宅を28万円／m<sup>2</sup>とし、大規模修繕は更新単価の約3割、小規模修繕は更新単価の約1.5割としました。

表 4-1 更新等単価

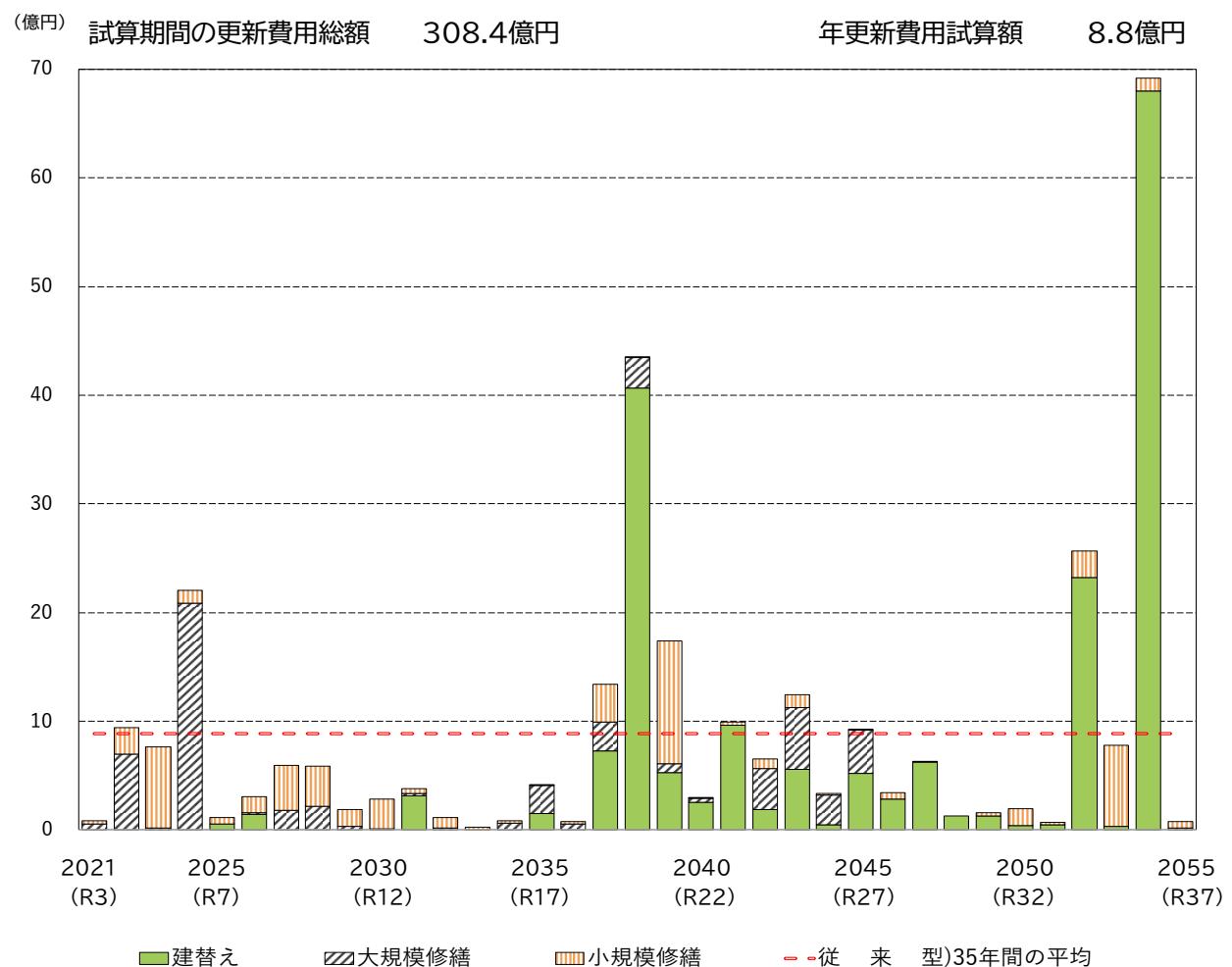
施設大分類	費用単価 (単位:円)
更新(建替え)	
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系等施設	400,000／m <sup>2</sup>
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、上水道施設、下水道施設、その他施設	360,000／m <sup>2</sup>
学校教育系施設、子育て支援施設、公園施設	330,000／m <sup>2</sup>
公営住宅	280,000／m <sup>2</sup>
大規模修繕(上記の更新単価の約3割)	
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系等施設	120,000／m <sup>2</sup>
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、上水道施設、下水道施設、その他施設	110,000／m <sup>2</sup>
学校教育系施設、子育て支援施設、公園施設	100,000／m <sup>2</sup>
公営住宅	90,000／m <sup>2</sup>
小規模修繕(上記の更新単価の約1.5割)	
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系等施設	60,000／m <sup>2</sup>
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、上水道施設、下水道施設、その他施設	60,000／m <sup>2</sup>
学校教育系施設、子育て支援施設、公園施設	50,000／m <sup>2</sup>
公営住宅	50,000／m <sup>2</sup>

## (2) シミュレーション結果（従来型）

「小山市公共施設等マネジメント推進計画」においては、耐用年数の60年後に建替えを行うとして、市の公共建築物290施設に対する平成30(2018)年度から令和37(2055)年度までの計画期間38年間にかかる更新費用を約1,648億円と試算しました。

この試算結果を基に、本計画における対象施設の187施設について、計画期間である令和3(2021)年度を初年度とする35年間にかかる更新費用を試算した結果、その額は308.4億円となりました。

図 4-1 公共施設の更新費用試算(従来型)



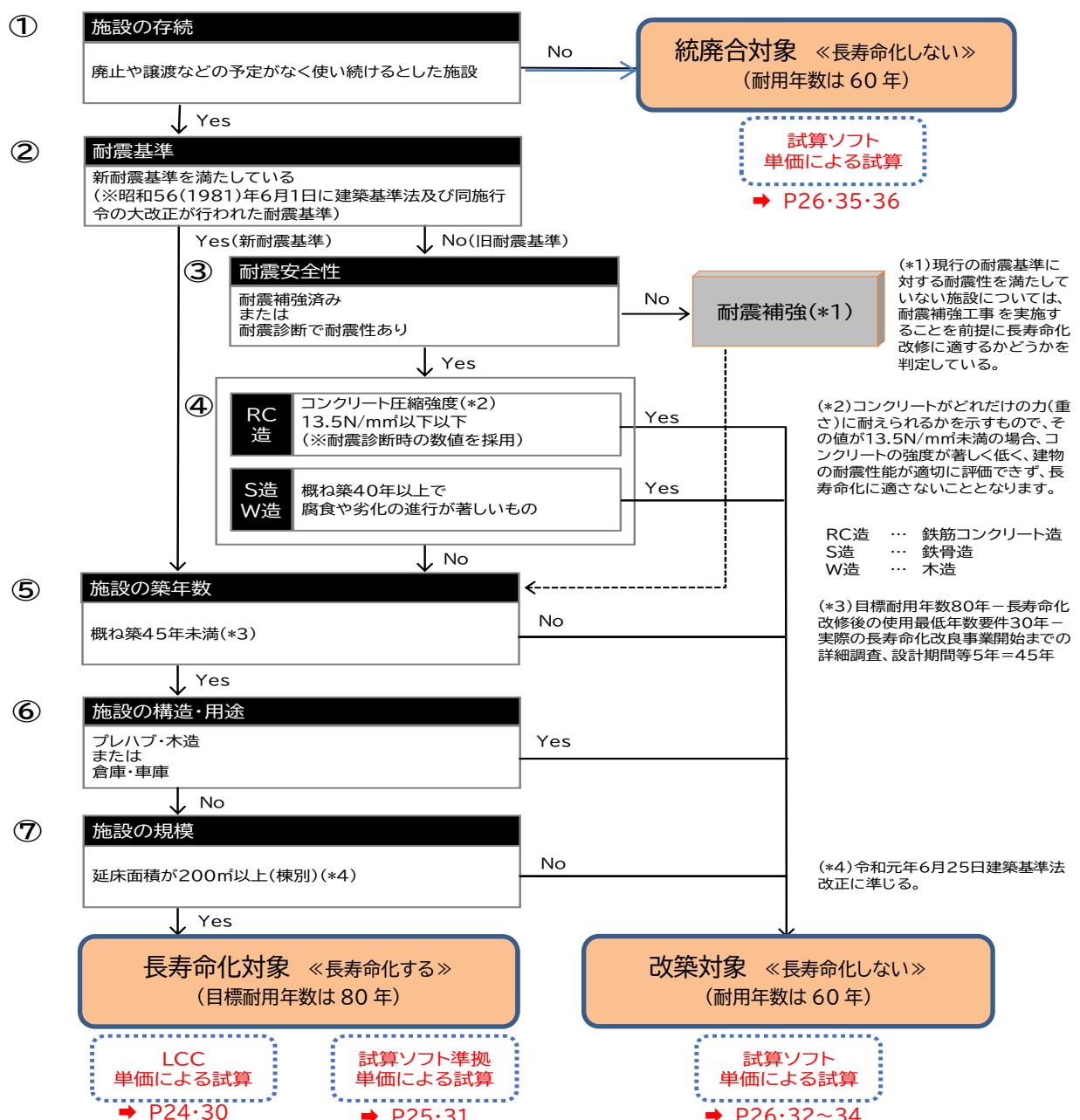
## 2 長寿命化型の更新費用（目標耐用年数 80 年で建替えとする試算方法）

本計画における対象施設の187施設について、計画的な修繕・改修により長寿命化を行うと仮定して計画期間である令和3(2021)年度を初年度とする35年間にかかる更新費用を算定します。

長寿命化による効果が低いと思われる建物については長寿命化対象外施設として従来型の費用試算を行い、これ以外の施設については目標耐用年数の80年後に建替えを行う長寿命化型の費用試算を行い、それぞれの合計額により更新費用を算定します。

### (1) 長寿命化の判定フロー

長寿命化の判定フローを用いて、長寿命化による効果が低いと思われる建物を「改築対象《長寿命化しない》」「統廃合対象《長寿命化しない》」とし、長寿命化による効果が期待できる建物を「長寿命化対象《長寿命化する》」とし、この判定結果に基づき、次ページ以降の(2)(3)(4)により費用を試算します。

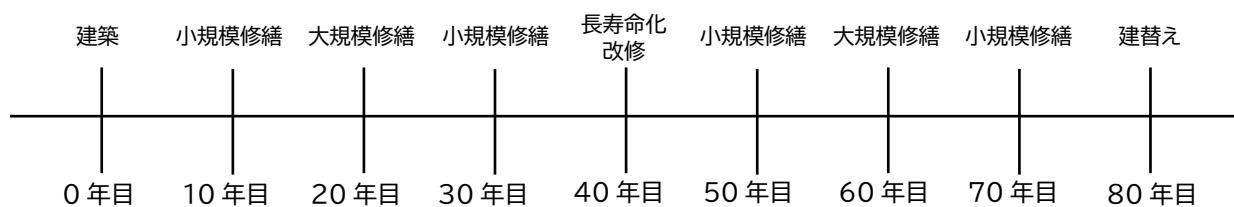


参考:学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(文部科学省)

## (2) 長寿命化対象施設 (LCC 単価による試算)

23ページの長寿命化の判定フローの判定結果に基づき、「長寿命化対象《長寿命化する》」とした施設は目標耐用年数の80年後に建替えを行うとして試算することとし、このうち劣化調査対象施設については、「平成31年版 建築物のライフサイクルコスト(財団法人建築保全センター)」を参考に改修周期および単価により、以下の条件でシミュレーションを実施します。

建築物が建てられた年を基準とし、長寿命化により目標耐用年数の80年後に更新(建替え)を、40年後の中間年に長寿命化改修を、20年後と60年後に大規模修繕を、10年後と30年後と50年後と70年後に小規模修繕を実施するものとします。



改修周期と単価は小規模事務庁舎、中規模事務庁舎、大規模事務庁舎、学校(校舎)、学校(体育館)、中層住宅(4階程度)、高層住宅(8階程度)の7つに分類して試算します。事務庁舎規模のイメージは以下の通りです。

図4-2 延床面積による事務庁舎規模のイメージ

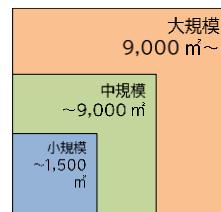


表4-2 各部位の改修周期および単価の設定

部位	項目	周期	単価(円/m <sup>2</sup> )						
			小規模事務 庁舎	中規模事務 庁舎	大規模事務 庁舎	校舎	体育館	中層住宅 (4階程度)	高層住宅 (8階程度)
外構	長寿命化改修	40	270	1,210	200	330	0	2,870	1,800
	大規模修繕	20	270	120	170	330	0	630	390
	小規模修繕	10	180	110	160	110	0	420	340
屋根	長寿命化改修	40	2,950	1,700	620	4,740	8,950	2,930	1,550
	大規模修繕	20	1,190	790	300	780	1,360	410	190
	小規模修繕	10	340	140	90	680	1,180	330	180
外部	長寿命化改修	40	17,400	16,720	6,320	12,680	13,600	15,960	16,560
	大規模修繕	20	4,250	2,270	1,390	4,300	5,210	6,000	6,610
	小規模修繕	10	720	710	320	310	620	630	900
内部	長寿命化改修	40	32,860	33,440	32,290	33,660	24,930	34,330	34,140
	大規模修繕	20	3,310	3,400	2,980	4,750	3,790	6,870	7,610
	小規模修繕	10	650	770	600	680	610	460	960
電気設備	長寿命化改修	40	38,360	35,120	32,870	18,010	11,050	11,970	11,100
	大規模修繕	20	3,780	5,280	5,100	1,160	2,810	830	830
	小規模修繕	10	0	0	300	30	20	0	0
機械設備	長寿命化改修	40	60,570	55,630	66,600	31,500	13,600	46,100	51,520
	大規模修繕	20	14,380	19,950	17,350	10,330	3,370	6,920	8,160
	小規模修繕	10	2,120	2,680	2,630	1,310	520	670	380
建替え	建替え	80	445,960	409,460	374,890	318,810	362,940	306,480	305,960

参考:平成31年版 建築物のライフサイクルコスト(財団法人建築保全センター)

※周期および単価について、掲載の都合上部位を集約して記載していますが試算にあたってはより細かい部位の単位で試算しています。そのため単純に延床面積を乗じても後述の実施計画の額と一致しない場合があります。

### (3) 長寿命化対象施設（試算ソフト準拠単価による試算）

23ページの長寿命化の判定フローの判定結果に基づき、「長寿命化対象《長寿命化する》」とした施設は目標耐用年数の80年後に建替えを行うとして試算することとし、このうち劣化調査対象外の施設については、「小山市公共施設等マネジメント推進計画」の試算を基準として、以下の条件でシミュレーションを実施します。

建築物が建てられた年を基準とし、長寿命化により目標耐用年数の80年後に更新(建替え)を、40年後の中間年に長寿命化型大規模修繕を、20年後と60年後に長寿命化型小規模修繕を実施するものとします。

建築 長寿命化型 小規模修繕 長寿命化型 大規模修繕 長寿命化型 小規模修繕 建替え



更新等単価については、試算ソフトに準じて、市民文化系施設等を40万円／m<sup>2</sup>、スポーツ・レクリエーション系施設等を36万円／m<sup>2</sup>、学校教育系施設等を33万円／m<sup>2</sup>、公営住宅を28万円／m<sup>2</sup>とし、長寿命化型大規模修繕は更新単価の約3割の額に約25%割り増し、長寿命化型小規模修繕は更新単価の約1.5割の額に約25%割り増しすることで、長寿命化が可能となるものとしました。

表 4-3 長寿命化型 更新等単価

施設大分類	費用単価 (単位:円)
更新(建替え)	
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系等施設	400,000／m <sup>2</sup>
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、上水道施設、下水道施設、その他施設	360,000／m <sup>2</sup>
学校教育系施設、子育て支援施設、公園施設	330,000／m <sup>2</sup>
公営住宅	280,000／m <sup>2</sup>
長寿命化型大規模修繕(上記の更新単価の約3割に25%割り増し)	
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系等施設	150,000／m <sup>2</sup>
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、上水道施設、下水道施設、その他施設	137,500／m <sup>2</sup>
学校教育系施設、子育て支援施設、公園施設	125,000／m <sup>2</sup>
公営住宅	112,500／m <sup>2</sup>
長寿命化型小規模修繕(上記の更新単価の約1.5割に25%割り増し)	
市民文化系施設、社会教育系施設、産業系施設、行政系等施設	75,000／m <sup>2</sup>
スポーツ・レクリエーション系施設、保健・福祉施設、上水道施設、下水道施設、その他施設	75,000／m <sup>2</sup>
学校教育系施設、子育て支援施設、公園施設	62,500／m <sup>2</sup>
公営住宅	62,500／m <sup>2</sup>

#### (4) 改築・統廃合対象施設（試算ソフト単価による試算）

23ページの長寿命化の判定フローの判定結果に基づき、長寿命化による効果が低いと思われる建物として「改築対象《長寿命化しない》」および「統廃合対象《長寿命化しない》」と判定した建物については、耐用年数の60年後に建替えを行うとして、本章1「従来型の更新費用」と同様の条件設定で試算します。更新等単価についても、同様（更新等単価表は21ページ 表4-1と同じ）とします。

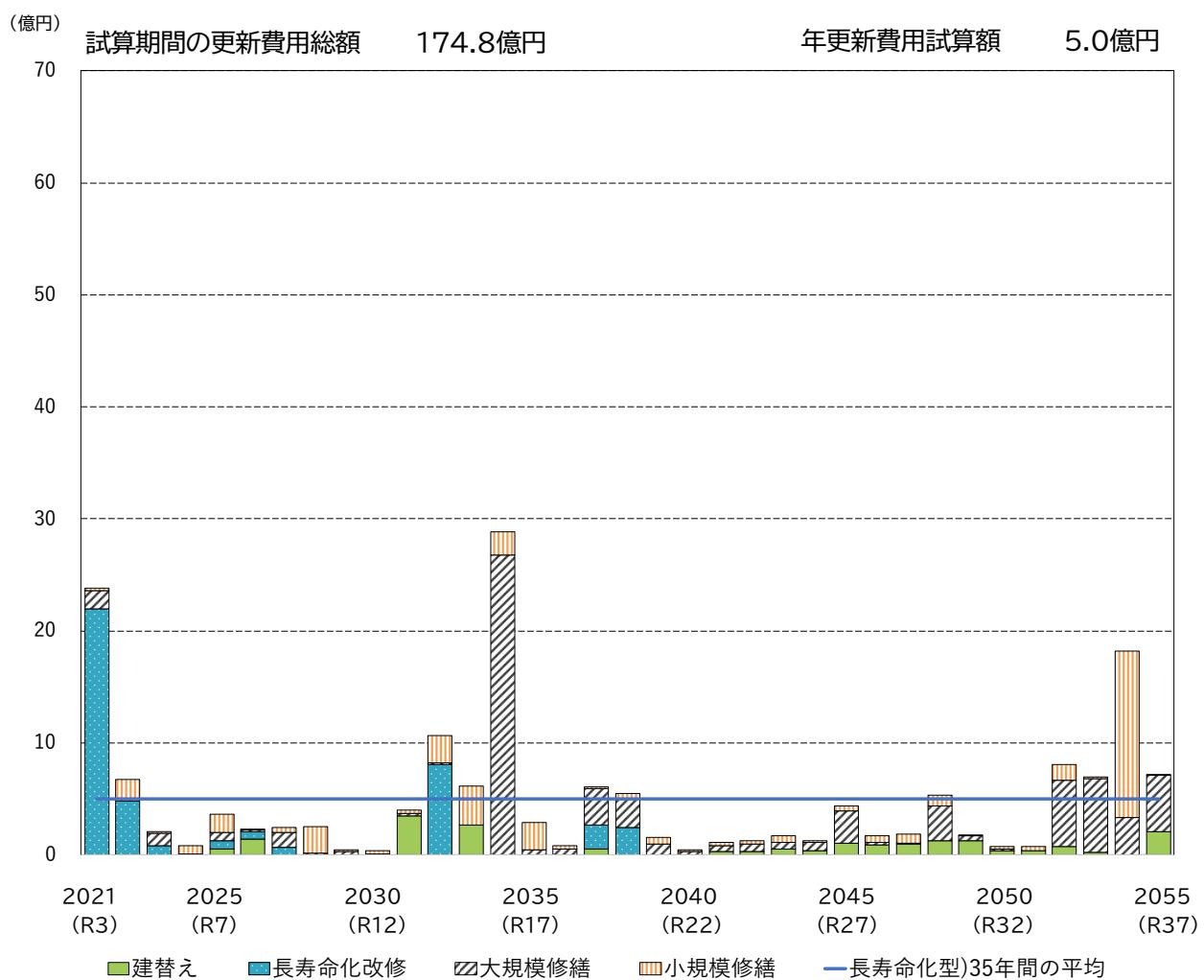
建築物が建てられた年を基準とし、耐用年数の60年後に更新（建替え）を、30年後の中間年に大規模修繕を、15年後と45年後に小規模修繕を実施するものとします。



#### (5) シミュレーション結果（長寿命化型）

長寿命化の判定フローに基づき長寿命化を行うと仮定して計画期間である令和3（2021）年度を初年度とする35年間の更新費用を試算した結果、その額は174.8億円と試算しました。

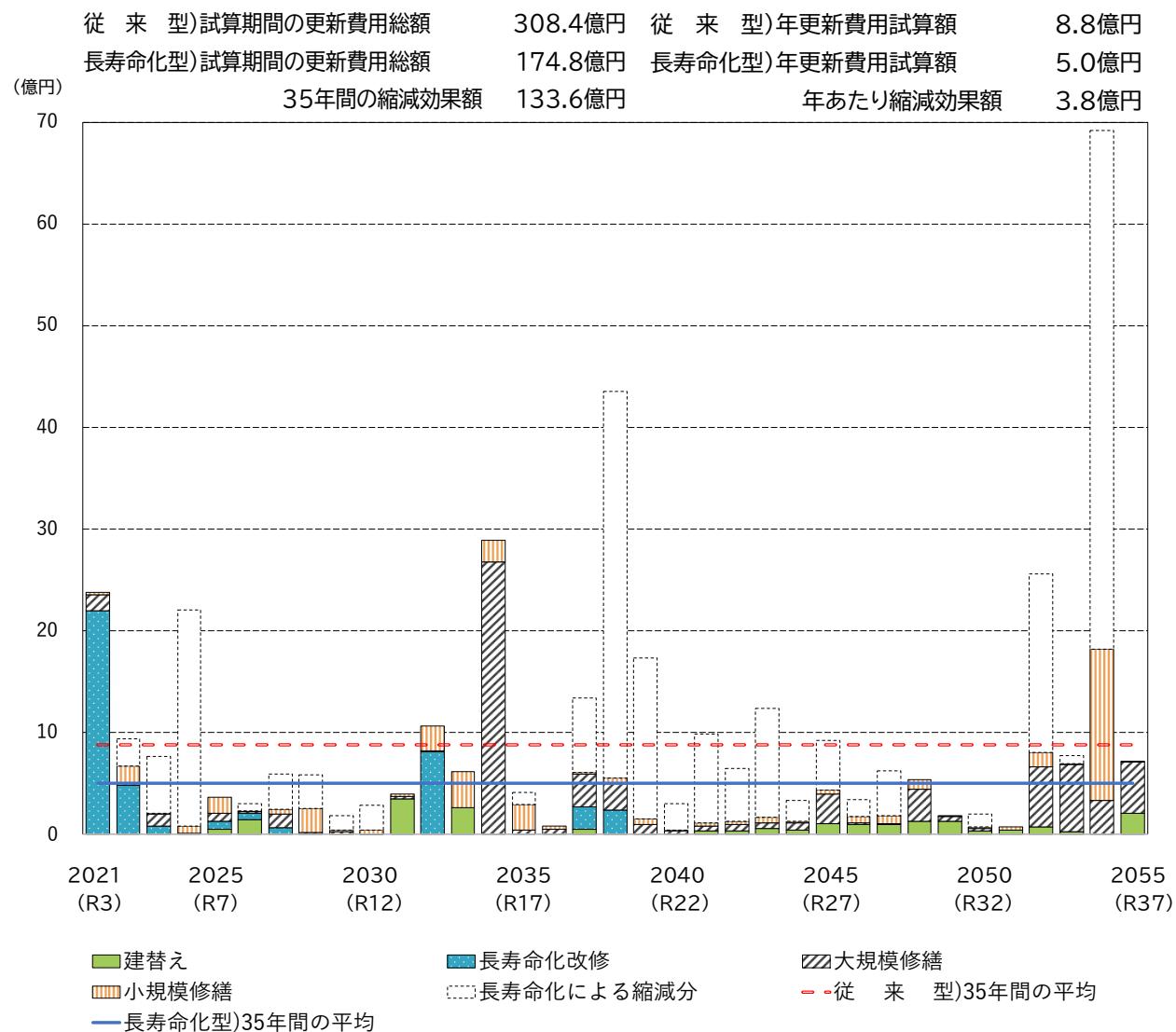
図 4-3 公共施設の更新費用試算（長寿命化型）



### 3 従来型と長寿命化型の費用比較

長寿命化の判定フローに基づき長寿命化を行うと仮定して計画期間である令和3(2021)年度を初年度とする35年間における更新費用を試算した結果、従来型の更新費用308.4億円に対して、長寿命化型は174.8億円となり、133.6億円の縮減効果が期待されます。

図 4-4 公共施設の更新費用試算比較(従来型 ⇄ 長寿命化型)



長寿命化により 35 年間における更新費用 133.6 億円縮減の見込み

次章では、劣化状況等から建物の優先順位づけを行ったうえで、上記の試算結果を基に、直近5か年の施設関連経費の平均額を目安として平準化を行い、改修等の実施計画を作成します。

## 第5章 実施計画

### 1 改修等の優先順位の考え方

施設を安全・安心・快適な状態で維持するには、日常的な点検等により、施設の状態把握に努めることが大切です。そのうえで、限られた財源の中では、効率的で効果的な改修・修繕を施す必要があります。

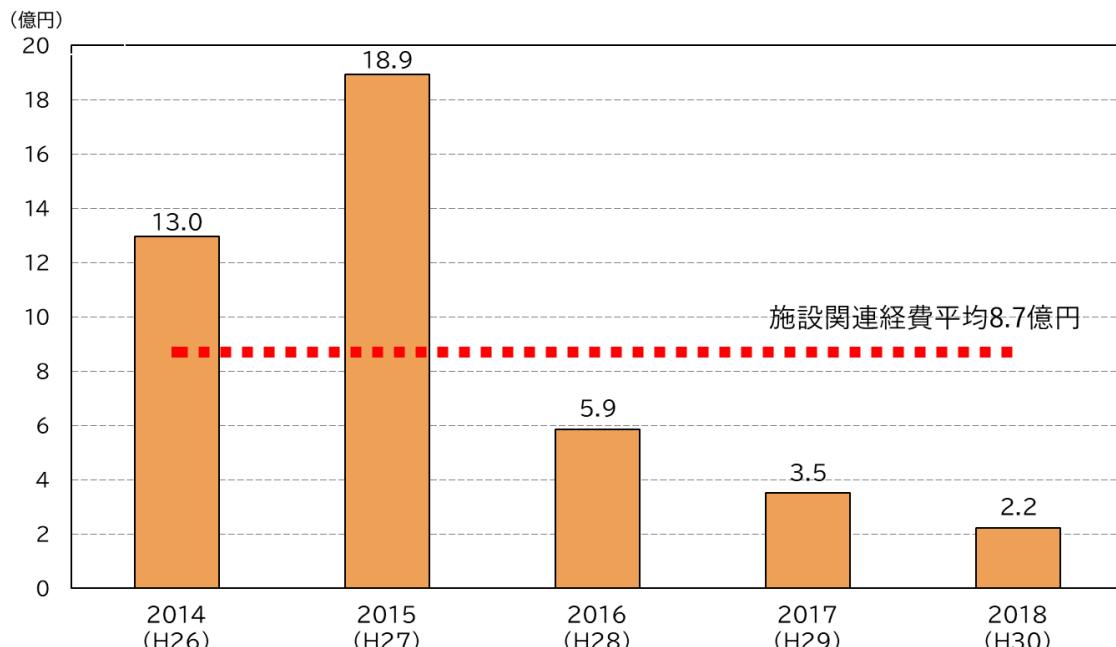
施設点検により把握した老朽化の度合いや危険個所について、庁内横断的な評価を行い、数値化による優先順位に基づき予算措置を行います。具体的には、不特定多数の市民が利用している施設、福祉施設、児童・保育施設などの施設や、部位の重要度、改修・修繕をしない場合のリスク、劣化度等を評価指標とし、総合的な順位による優先づけを行います。

### 2 計画期間におけるコストの見通し

実施計画を作成するにあたっては、直近 5 年の施設関連経費の平均額であるおよそ 8.7 億円を更新費用に充当可能な財源の目安と仮定しました。

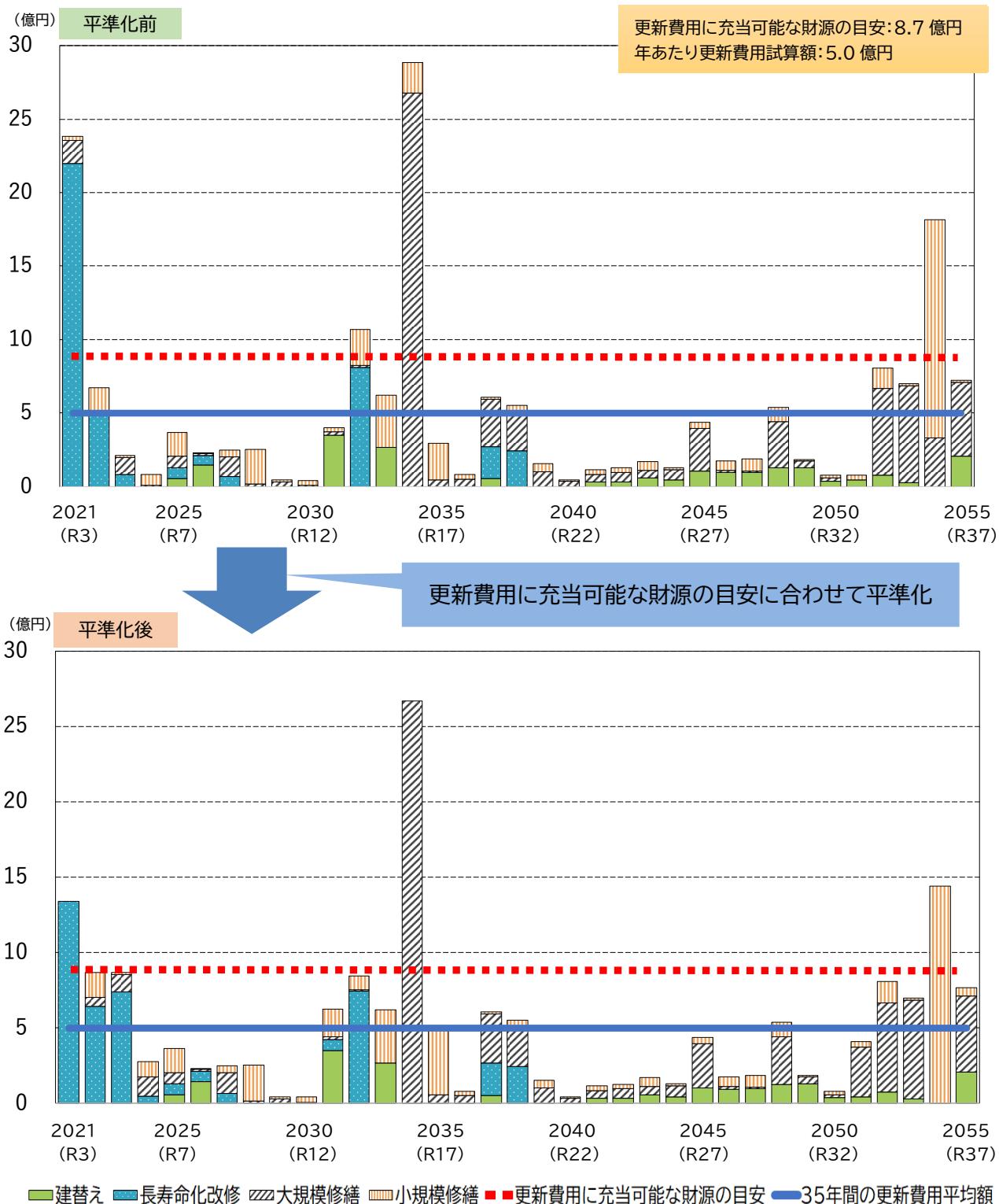
なお、施設関連経費の平均額は、本計画で対象外としている施設にかかる経費を除き算出しています。

図 5-1 直近 5 年の施設関連経費平均



改修・更新施設が集中することで更新費用に充当可能な財源の目安を上回る年度については、改修・更新時期を分散させることで財政負担の平準化を図ることとします。ただし、2021・2034・2054年度は改修時期を分散できないことから、財源の確保等の検討が必要になります。

図 5-2 公共施設の更新費用試算比較(平準化前↔平準化後)



具体的には実施年次および個別の事業費を精査しつつ、財源とのバランスを見ながら対応します

### 3 実施計画

本実施計画は、80年の目標耐用年数まで長寿命化するために設定した改修周期にしたがって、計画期間の35年間に講ずるべき改修や建替え等の対策内容とかかる費用を施設ごとに試算したうえで、更新費用に充当可能な財源の目安を踏まえて実施時期を組み替え(平準化)して、整理したものです。

したがって、具体的な改修内容や事業(工事)年度については、別途詳細診断を実施したうえで、「小山市総合計画(実施計画)」において、優先順位や合理的な工事範囲を勘案しながら、実施年次および個別の事業費を精査するとともに、当該年度の予算査定において確定するものです。

なお、対策内容には、「小山市公共施設等マネジメント推進計画」に定めた再配置の方針を踏まえ、講ずる対策内容を掲載しています。

表 5-1 改修周期に基づく実施計画

(単位:千円)

No.	施設名称	建築 年度 経過 年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	総計 35年間の 総額	対策内容
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8) ～ 2035 (R17)	2036 (R18) ～ 2045 (R27)	2046 (R28) ～ 2055 (R37)		
<b>1.長寿命化対象(LCC単価による試算)</b>													
				1,427,471	415,188	695,792	252,952	76,755	1,048,331	856,324	476,553	5,249,366	
1 文化センター		1978	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化・耐震補強・PFIによる建替えの両面から検討
		40	改修	1,044,395	0	0	0	0	32,594	172,590	32,594	1,282,174	
2 中央公民館		1978	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化・耐震補強・PFIによる建替えの両面から検討
		40	改修	239,332	0	0	0	0	7,469	39,551	7,469	293,822	
3 中央図書館小山分館		1978	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化・耐震補強・PFIによる建替えの両面から検討
		40	改修	54,988	0	0	0	0	1,472	7,720	1,472	65,652	
4 生井公民館(※)		1987	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化・耐震補強・PFIによる建替えの両面から検討
		31	改修	0	0	0	0	0	66,594	1,731	9,334	77,660	
5 寒川公民館(※)		1986	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化・耐震補強・PFIによる建替えの両面から検討
		32	改修	0	0	0	0	0	65,814	1,711	9,225	76,750	
6 豊田公民館(※)		1983	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(周辺施設との複合化を検討)
		35	改修	0	0	80,327	0	0	2,088	11,259	2,088	95,762	
7 中公民館(※)		1979	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(周辺施設との複合化を検討)
		39	改修	0	0	0	46,944	0	1,340	6,602	1,340	56,227	
8 穂積公民館		1982	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(周辺施設との複合化を検討)
		36	改修	0	49,717	0	0	0	1,410	7,325	1,410	59,863	
9 絹公民館(※)		1985	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(周辺施設との複合化を検討)
		33	改修	0	0	0	0	75,058	1,951	10,521	1,951	89,481	
10 中央図書館		1992	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(周辺施設との複合化を検討)
		26	改修	0	22,460	0	0	0	741,533	22,460	159,141	945,594	
11 博物館		1981	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化を検討)
		37	改修	0	0	248,851	0	0	7,593	42,429	7,593	306,466	
12 出井保育所		1977	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化を検討)
		41	改修	0	56,446	0	0	0	1,608	8,027	1,608	67,689	
13 間々田北保育所(※)		1978	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(統廃合や民営化推進を図る)
		40	改修	0	63,617	0	0	0	1,834	9,035	1,834	76,319	
14 やはた保育所		1997	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(統廃合や民営化推進を図る)
		21	改修	0	1,627	0	0	0	5,569	214,233	5,569	226,999	
15 城北保育所		1980	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(統廃合や民営化推進を図る)
		38	改修	0	0	97,997	0	0	2,780	14,438	2,780	117,996	
16 網戸保育所		1975	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	206,118	長寿命化
		43	改修	0	59,415	0	0	1,696	8,356	1,696	0	71,163	
17 紬保育所(※)		1992	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(規模の適正化や他施設との複合化を図る)
		26	改修	0	1,819	0	0	0	69,719	1,819	9,442	82,798	
18 小山市駅南児童センター		1979	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(規模の適正化や他施設との複合化を図る)
		39	改修	0	42,012	0	0	0	1,211	5,966	1,211	50,401	
19 小山市城北児童センター		1981	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化
		37	改修	0	63,275	0	0	0	1,803	8,998	1,803	75,878	
20 小山市ふれあい健康センター(※)		1998	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に転用・長寿命化
		20	改修	0	0	0	0	0	7,814	242,573	7,814	258,202	
21 小山市保健・福祉センター		1982	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に転用・長寿命化
		36	改修	88,755	54,800	85,700	206,008	0	13,022	0	0	448,286	
22 小山東出張所		1977	建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(規模の適正化や他施設との複合化を図る)
		41	改修	0	0	182,918	0	0	4,755	25,640	4,755	218,067	

## 第5章 実施計画

No.	施設名称	建築年度 経過年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	総計 35年間の 総額	対策内容
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8) ～ 2035 (R17)	2036 (R18) ～ 2045 (R27)	2046 (R28) ～ 2055 (R37)		
				0	0	100,694	130,952	224,018	3,909,376	544,094	3,734,946	8,644,078	
2.長寿命化対象(試算ソフト準拠単価による試算)													
1 小山市小山城南市民交流センター	2012 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	6 改修	0	0	0	0	0	0	129,470	0	258,939	388,409		
2 小山市間々田市民交流センター	2008 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	市民交流センターの整備方針に従い、長寿命化
	10 改修	0	0	0	0	0	0	145,878	0	291,756	437,634		
3 小山市桑市民交流センター	2015 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ロブレの方針に従い、長寿命化
	3 改修	0	0	0	0	0	0	184,252	0	368,504	552,755		
4 小山市まちなか交流センター	2012 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	6 改修	0	0	0	0	0	0	25,151	0	50,303	75,454		
5 中央図書館間々田分館	2008 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	市民交流センターの整備方針に従い、長寿命化
	10 改修	0	0	0	0	0	0	6,906	0	13,812	20,718		
6 中央図書館桑分館	2015 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	3 改修	0	0	0	0	0	0	10,874	0	21,749	32,623		
7 寺野東遺跡資料館	2004 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ロブレの方針に従い、長寿命化
	14 改修	0	0	0	0	30,509	0	0	61,017	0	91,526		
8 生涯学習センター	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9 おやま未来開拓塾	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	24 改修	0	0	0	0	0	0	7,200	0	3,600	10,800		
10 おやま本場 結城袖グラフト館	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11 宇都宮大学おやまサテライトプログラマ	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12 国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館	2018 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化
	0 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	45,675	0	45,675	
13 間々田小第三学童保育館(交流センター内)	2008 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	学校施設の余裕教室等や民間施設の利用も検討
	10 改修	0	0	0	0	0	0	4,348	0	8,695	13,043		
14 子育て支援総合センター	2012 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	サクラコモンの整備方針に従い、長寿命化
	6 改修	0	0	0	0	0	0	55,640	0	111,280	166,920		
15 小山市健康医療介護総合支援センター	2014 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	4 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	331,917	497,876		
16 消防本部庁舎(※)(庁舎・訓練等)	2013 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(将来の人口減少に合わせて再編・統合なども検討)
	5 改修	0	0	0	0	0	0	328,355	0	656,711	985,066		
17 大谷分署(※)(庁舎)	1983 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(将来の人口減少に合わせて再編・統合なども検討)
	35 改修	0	0	100,694	0	0	0	0	50,347	0	151,040		
18 間々田分署(※)(庁舎)	1979 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	39 改修	0	0	0	0	100,443	0	0	50,222	0	150,665		
19 豊田分署	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化
	31 改修	0	0	0	0	0	0	0	125,111	0	62,555	187,666	
20 桑分署	1985 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化
	33 改修	0	0	0	0	0	0	75,300	0	37,650	0	112,950	
21 紬分遣所	2015 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化
	3 改修	0	0	0	0	0	0	0	48,227	0	96,453	144,680	
22 小山市中央公衆便所	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ロブレの方針に従い、長寿命化
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	5,264	0	2,871	8,135	
23 小山中央公共駐輪場	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	353,796	0	192,980	546,775	
24 とちぎ結婚支援センター小山	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(他施設との複合化も検討)
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	8,113	0	4,425	12,538	
25 ロブリビル(生涯学習センター等以外)	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(運用形態の見直しを検討)
	24 改修	0	0	0	0	0	0	0	2,015,063	0	1,099,125	3,114,188	
26 道の駅思川	2005 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長寿命化(維持修繕(更新費用負担を協議))
	13 改修	0	0	0	0	0	0	148,718	0	272,649	0	421,366	
27 やすらぎの森(※)(管理棟)	1997 建替	0	0	0	0	0	0	0	10,790	26,535	19,782	57,107	民間による維持修繕(更新費用負担を協議)
	21 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28 栃木県南地方卸売市場	1993 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	民間による維持修繕(更新費用負担を協議)
	25 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 第5章 実施計画

No.	施設名称	建築 年度 経過 年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	総計 35年間の 総額	対策内容
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8) ~ 2035 (R17)	2036 (R18) ~ 2045 (R27)	2046 (R28) ~ 2055 (R37)		
3.改築対象(試算ソフト単価による試算)				0	182,475	21,108	90,259	64,047	1,113,521	991,675	1,066,677	3,529,761	
1 生井公民館(※) (物置等)	1987 31	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,369	0 0	0 0	29,124 4,369	
2 赤川公民館(※) (物置等)	1986 32	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,270	0 0	0 0	28,468 4,270	
3 豊田公民館(※) (物置等)	1983 35	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	7,776 4,527	22,404 0	0 0	30,180 4,527	適切な維持補修 (周辺施設との複合化を検討)
4 中公民館(※) (物置等)	1979 39	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 16,001	0 11,843	0 3,922	14,904 31,766	
5 紬公民館(※) (物置等)	1985 33	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,183	0 27,888	0 0	27,888 4,183	
6 小野塚イツ子記念館	1871 147	建替 改修	0 0	0 18,720	0 0	0 8,880	0 0	0 0	0 13,800	0 0	0 0	0 41,400	適切な維持補修 (建替は行わない)
7 車屋美術館 (管理棟)	1911 107	建替 改修	0 0	0 0	0 3,636	0 0	0 0	0 0	306,252 7,272	0 49,574	0 0	306,252 60,482	適切な維持補修 (複合化を検討)
8 桑・蚕・繭・真綿かけ・ 糸つむぎのさと	2019 0	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 7,320	0 0	0 14,640	0 21,960	適切な維持補修 (複合化を検討)
9 弓道場	1965 53	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	48,600 0	0 0	0 0	0 8,100	0 14,850	0 22,950	移転整備を検討
10 小山市 開運スポーツ合宿所	1973 45	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	264,600 0	0 0	0 0	0 44,100	0 44,100	適切な維持補修
11 小山市 不登校適応指導教室	2012 6	建替 改修	0 0	0 0	0 1,944	0 0	0 0	0 14,250	0 29,472	0 0	0 0	0 45,666	適切な維持補修
12 小山市外国人児童 生徒適応指導教室	2009 9	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 18,393	0 0	0 0	36,785 0	18,393 0	0 0	0 73,570	適切な維持補修 (複合化を検討)
13 青少年相談室	2007 11	建替 改修	0 0	0 5,461	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 10,922	0 5,461	0 21,844	
14 間々田北保育所(※) (乳児室)	1978 40	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	6,823 0	3,412 0	0 0	0 0	0 10,235	適切な維持補修 (統廃合や民営化推進を図る)
15 紬保育所(※) (物置)	1992 26	建替 改修	0 0	0 2,844	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1,422	0 0	0 0	0 4,266	
16 小山第三小 学童保育館	2004 14	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 11,500	0 0	0 5,750	0 17,250	0 0	
17 小山城南小 学童保育館	1996 22	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6,800	0 3,400	0 0	0 0	0 10,200	
18 小山城南小第二 学童保育館	2012 6	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,969	0 9,937	0 0	0 0	0 14,906	
19 小山城北小 学童保育館	1999 19	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 9,700	0 4,850	0 0	0 0	0 14,550	
20 小山城北小第二 学童保育館	2009 9	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 5,044	0 0	0 0	0 10,087	0 5,044	0 0	0 20,174	
21 若木小第二 学童保育館	2009 9	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 5,044	0 0	0 0	0 10,087	0 5,044	0 0	0 20,174	
22 若木小第三 学童保育館	2014 4	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 5,469	0 10,938	0 0	0 0	0 16,407	
23 東城南小 学童保育館	2019 0	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 10,850	0 0	0 21,700	0 0	0 32,550	
24 小山城東小第二 学童保育館	2009 9	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 5,044	0 0	0 0	0 10,087	0 5,044	0 0	0 20,174	適切な維持補修 (学校施設の余裕教室等や民間施設への移転を検討し、用途変更を検討)
25 小山城東小第三 学童保育館	2015 3	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4,969 0	9,937 0	0 0	0 0	0 14,906	
26 大谷東小第三 学童保育館	2016 2	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 3,975	0 0	0 7,949	0 0	0 11,924	
27 大谷北小第二 学童保育館	2009 9	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 5,044	0 0	0 0	0 10,087	0 5,044	0 0	0 20,174	
28 間々田東小第二 学童保育館	2005 13	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 9,720	0 0	0 4,860	0 0	0 14,580	
29 乙女小第二 学童保育館	2010 8	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 5,044	0 0	0 10,087	0 5,044	0 0	0 20,174
30 間々田東小 学童保育館	2001 17	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 9,180	0 0	0 4,590	0 0	0 13,770	
31 間々田東小第二 学童保育館	2008 10	建替 改修	0 0	0 0	0 4,935	0 0	0 0	0 0	0 9,869	0 9,937	0 0	0 19,738	
32 間々田東小第三 学童保育館	2010 8	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 5,044	0 0	0 10,087	0 5,044	0 0	0 20,174
33 間々田東小第四 学童保育館	2013 5	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,969	0 9,937	0 0	0 0	0 14,906	
34 紬義務 学童保育館	2019 0	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 5,050	0 0	0 10,100	0 0	0 0	0 15,150

No.	施設名称	建築 年度 経過 年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	総計 35年間の 総額	対策内容
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8) ~ 2035 (R17)	2036 (R18) ~ 2045 (R27)	2046 (R28) ~ 2055 (R37)		
3.改築対象(試算ソフト単価による試算)				0	182,475	21,108	90,259	64,047	1,113,521	991,675	1,066,677	3,529,761	
35 旧梁小学童保育館	2009 9	建替 改修	0 0	0 5,044	0 0	0 0	0 0	0 0	0 10,087	0 5,044	0 5,044	20,174	適切な維持補修 (用途変更を検討)
36 いきいきふれあい センター寒川	1977 41	建替 改修	0 0	0 8,844	0 0	0 0	0 0	0 0	0 53,064	0 0	0 8,844	53,064 17,688	適切な維持補修 (複合化を検討)
37 小山市ふれあい健康 センター(※)(倉庫等)	1998 20	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 15,194	0 8,288	0 0	0 0	23,482	適切な維持補修
38 地域活動支援センター ラバーナーハウス	1966 52	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,666	0 18,558	0 0	0 0	23,224	適切な維持補修
39 地域活動支援センター 小山こすもす園	1992 26	建替 改修	0 0	0 8,979	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,898	0 0	0 0	13,877	適切な維持補修
40 小山市役所 (大型バス車庫)	1971 47	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 38,000	0 0	0 0	0 5,700	38,000 5,700	適切な維持補修
41 小山市役所 (マイクロバス車庫)	1988 30	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4,320	0 0	0 0	0 0	28,800 4,320	適切な維持補修
42 消防本部庁舎(※) (車庫)	2013 5	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 14,911	0 29,822	0 0	0 0	44,734	
43 大谷分署(※) (消毒室)	1983 35	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 3,974	0 0	0 0	0 0	0 1,987	5,962
44 間々田分署(※) (消毒室)	1979 39	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 3,240	0 0	0 0	0 1,620	0 4,860	
45 第1分団1部 器具置場	1981 37	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,384	0 0	0 0	0 0	0 2,384	
46 第1分団2部 器具置場	1986 32	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,384	0 0	0 0	0 0	0 2,384	
47 第2分団1部 器具置場	1982 36	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,384	0 0	0 0	0 0	0 2,384	
48 観覧橋水防倉庫兼 第2分団2部器具置場	2002 16	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 8,472	0 0	0 0	0 0	0 4,236	12,708
49 第3分団1部 器具置場	1966 52	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 17,640	0 0	0 0	0 0	0 17,640	
50 第3分団4部 器具置場	1988 30	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,782	0 0	0 0	0 0	0 2,782	
51 第4分団 器具置場	1983 35	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 15,896	0 0	0 0	0 15,896	
52 第5分団 器具置場	1991 27	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 3,179	0 0	0 0	0 9,536	
53 第6分団 器具置場	1992 26	建替 改修	0 0	0 5,563	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,782	0 0	0 18,544	18,544
54 第7分団 器具置場	1999 19	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6,358	0 0	0 0	0 0	0 0	9,536
55 第8分団1部 器具置場	1988 30	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,782	0 0	0 0	18,544 2,782
56 第8分団2部 器具置場	1983 35	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,384	0 0	0 0	15,896 2,384
57 第9分団1部 器具置場	1983 35	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 17,200	0 0	0 0	17,200 2,580
58 第9分団2部 器具置場	2012 6	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 3,776	0 7,553	0 0	0 11,329	
59 第10分団1部 器具置場	2000 18	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6,358	0 0	0 0	0 0	0 0	0 9,536
60 第10分団2部 器具置場	2008 10	建替 改修	0 0	0 0	0 4,236	0 0	0 0	0 0	0 0	0 8,472	0 0	0 4,236	16,944
61 第10分団3部 器具置場	1984 34	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,384	0 0	0 0	0 2,384	
62 第11分団1部 器具置場	1991 27	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6,358	0 0	0 0	0 0	0 21,192	21,192
63 第11分団2部 器具置場	1984 34	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,384	0 0	0 0	0 0	0 2,384
64 第11分団3部 器具置場	1999 19	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 9,536
65 第12分団1部 器具置場	1990 28	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,782	0 0	0 0	0 0	0 2,782
66 第12分団2部 器具置場	2001 17	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 8,472	0 0	0 0	0 0	0 12,708
67 第12分団3部 器具置場	1989 29	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2,782	0 0	0 0	0 0	0 2,782
68 第13分団1部 器具置場	1997 21	建替 改修	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6,358	0 3,179	0 0	0 0	0 9,536

No.	施設名称	建築 年度 経過 年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	対策内容	
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8) ～ 2035 (R17)	2036 (R18) ～ 2045 (R27)	2046 (R28) ～ 2055 (R37)		
3.改築対象(試算ソフト単価による試算)				0	182,475	21,108	90,259	64,047	1,113,521	991,675	1,066,677	3,529,761	
69 第13分団2部 器具置場	1982 建替	0	0	0	0	0	0	0	15,896	0	0	15,896	
	36 改修	0	0	0	0	0	0	2,384	0	0	0	2,384	
70 第13分団3部 器具置場	1985 建替	0	0	0	0	0	0	0	15,896	0	0	15,896	
	33 改修	0	0	0	0	0	0	2,384	0	0	0	2,384	
71 第14分団1部 器具置場	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	31 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
72 第14分団2部 器具置場	1985 建替	0	0	0	0	0	0	0	15,896	0	0	15,896	
	33 改修	0	0	0	0	0	0	2,384	0	0	0	2,384	
73 第14分団3部 器具置場	1992 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	26 改修	0	5,563	0	0	0	0	0	2,782	0	0	8,345	
74 第15分団1部 器具置場	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	31 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
75 第15分団2部 器具置場	1989 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	29 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
76 第16分団1部 器具置場	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	31 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
77 第16分団2部 器具置場	1986 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	32 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
78 第17分団1部 器具置場	1981 建替	0	0	0	0	0	0	0	15,896	0	0	15,896	
	37 改修	0	0	0	0	0	0	2,384	0	0	0	2,384	
79 第17分団2部 器具置場	1996 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	22 改修	0	0	0	0	0	0	0	6,358	3,179	0	9,536	
80 第17分団3部 器具置場	1989 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	29 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
81 第18分団1部 器具置場	1990 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,544	18,544	
	28 改修	0	0	0	0	0	0	2,782	0	0	0	2,782	
82 第18分団2部 器具置場	1986 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,896	15,896	
	32 改修	0	0	0	0	0	0	2,384	0	0	0	2,384	
83 第18分団3部 器具置場	1993 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,192	21,192	
	25 改修	0	0	6,358	0	0	0	0	3,179	0	0	9,536	
84 大行寺水防倉庫	2001 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	17 改修	0	0	0	0	0	0	3,179	0	1,589	0	4,768	
85 水防倉庫第23号	1989 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,596	10,596	
	29 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,589	0	0	1,589	
86 水防倉庫第38号	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,596	10,596	
	31 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,589	0	0	1,589	
87 水防倉庫第40号	1971 建替	0	0	0	0	0	0	0	6,624	0	0	6,624	
	47 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	994	994	
88 水防倉庫第42号	1988 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,368	10,368	
	30 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,555	0	0	1,555	
89 水防倉庫第44号	1984 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,368	10,368	
	34 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,555	0	0	1,555	
90 水防倉庫第81号	1989 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,000	8,000	
	29 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,200	0	0	1,200	
91 水防倉庫第83号	1965 建替	0	0	0	0	0	5,360	0	0	0	0	5,360	
	53 改修	0	0	0	0	0	0	0	804	1,608	0	2,412	
92 消防本部島田倉庫	1966 建替	0	0	0	0	0	0	8,000	0	0	0	8,000	
	52 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,200	0	0	1,200	
93 消防本部立木倉庫	1966 建替	0	0	0	0	0	0	8,000	0	0	0	8,000	
	52 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,200	0	0	1,200	
94 黒木倉庫	2006 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12 改修	0	0	0	25,054	0	0	0	50,107	25,054	100,214	100,214	
95 小山市文書館	1929 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	53,572	53,572	53,572	
	89 改修	0	1,192	0	0	0	0	8,036	2,384	1,192	0	12,805	
96 小山市文書館分室	2007 建替	0	0	0	0	0	0	0	248,945	124,472	497,890	497,890	
	11 改修	0	124,472	0	0	0	0	0	248,945	124,472	497,890	497,890	
97 小山駅東口 公衆トイレ	2013 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5 改修	0	0	0	0	0	0	1,393	2,553	0	0	3,946	
98 間々田駅東口 公衆トイレ	2007 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	1,531	835	3,202	
	11 改修	0	835	0	0	0	0	0	0	0	835	2,366	
99 間々田駅西口 公衆トイレ	2005 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13 改修	0	0	0	0	0	0	0	1,531	0	0	0	
100 鵜島道路課 資材置場車庫	1985 建替	0	0	0	0	0	0	0	42,520	0	0	42,520	
	33 改修	0	0	0	0	0	0	7,087	0	0	0	7,087	
101 絹ふれあいの郷	2005 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	13 改修	0	0	0	0	0	0	0	12,206	0	6,658	18,863	
102 やすらぎの森(※) (倉庫)	1997 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	21 改修	0	0	0	0	0	0	0	2,640	1,440	0	4,080	

No.	施設名称	建築年 経過年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	対策内容	
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8) ～ 2035 (R17)	2036 (R18) ～ 2045 (R27)	2046 (R28) ～ 2055 (R37)		
4.統廃合施設(試算ソフト単価による試算)				0	16,263	8,100	8,100	0	8,191	16,232	0	56,885	
1 大谷公民館	1980 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・売却
	38 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 旧桑公民館	1981 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	売却
	37 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3 男女共同 参画センター	1976 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	移転・売却
	42 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4 御殿町自治会倉庫	1968 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	50 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5 須賀町公民館	1966 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	52 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6 間々田4丁目公民館	1984 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	34 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7 長者町自治会公民館	2004 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	14 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8 楓山公民館	1988 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9 思水ヶ丘公民館	1974 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	44 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10 網戸中坪集会所	1975 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	地元自治会等へ無 償譲渡
	43 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11 押切集会所	1978 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	40 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12 中里集会所	1976 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	42 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13 旧川入集会所	1977 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	41 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14 堀の内集会所	1978 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	40 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15 旧向野北集会所	1981 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	37 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16 旧喜沢東部集会所	1990 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	28 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17 東出井集会所	1976 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	42 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18 生井分室 (旧生良公民館)	1971 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	47 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19 小山市 埋蔵文化財センター	1974 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	44 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20 飯塚分室(旧羽川 小学校飯塚分校)	1962 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	56 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21 武道館	1971 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	47 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22 小山市 勤労者体育センター	1974 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	適切な維持補修
	44 改修	68,083	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68,083	
23 小山市 勤労青少年ホーム	1972 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	勤労者福祉会館機 能を集約
	46 改修	68,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68,000	
24 小山南工業団地 管理棟	2008 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	売却または用途変 更を検討
	10 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25 中久喜保育所	1975 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	43 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26 桑保育所	1963 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	民営化により維持 修繕
	55 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27 もみじ保育所	1974 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	44 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28 若木保育所	1976 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	42 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29 小山城東小 学童保育館	1994 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	24 改修	0	0	0	8,100	0	0	4,050	0	0	12,150	0	
30 大谷東小 学童保育館	1990 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	28 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
31 大谷北小 学童保育館	1993 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能保持(集約化 または民営化)
	25 改修	0	0	8,100	0	0	0	4,050	0	0	12,150	0	
32 間々田小 学童保育館	1991 建替	0	8,100	0	0	0	0	4,050	0	0	12,150	0	
	27 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
33 間々田小第四 学童保育館	1991 建替	0	8,163	0	0	0	0	4,082	0	0	12,245	0	
	27 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

No.	施設名称	建築 年度 経過 年数	項目	単年度					10年間	10年間	10年間	35年間の 総額	対策内容
				2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)					
4.統廃合施設(試算ソフト単価による試算)				0	16,263	8,100	8,100	0	8,191	16,232	0	56,885	
34 乙女小 学童保育館	1988 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能保持(集約化 または民営化)
	30 改修	0	0	0	0	0	0	4,050	0	0	0	4,050	
35 羽川小 学童保育館	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に廃 止・撤去
	31 改修	0	0	0	0	0	0	4,141	0	0	0	4,141	
36 いきいきふれあい センターみつわ	1962 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	56 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
37 いきいきふれあい センターなまい	1971 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に廃 止・撤去
	47 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
38 いきいきふれあい センター桑	1995 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に廃止 または用途変更
	23 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
39 高齢者サポート センター大谷	1990 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に廃止 または用途変更
	28 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40 保健センター分室	1962 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	56 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
41 勤労者福祉会館	1976 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	小山市勤労青少年 ホールに機能集約 後、廃止売却等
	42 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
42 塩沢書類倉庫	1984 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	34 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
43 八幡倉庫	1966 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	機能移転後に廃 止・撤去
	52 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
44 小野塚イツ子 遺贈財産(天神町2丁目)	1987 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	廃止・撤去
	31 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
45 旧思川駅舎	1999 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	貸付民間による維 持修繕
	19 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
46 旧梁小学校	1984 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	民間による維持修 繕
	34 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
47 旧延島小学校	1989 建替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	貸付民間による維 持修繕
	29 改修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総計				1,563,554	613,925	825,694	482,263	364,819	6,079,418	2,408,324	5,278,176	17,616,172	

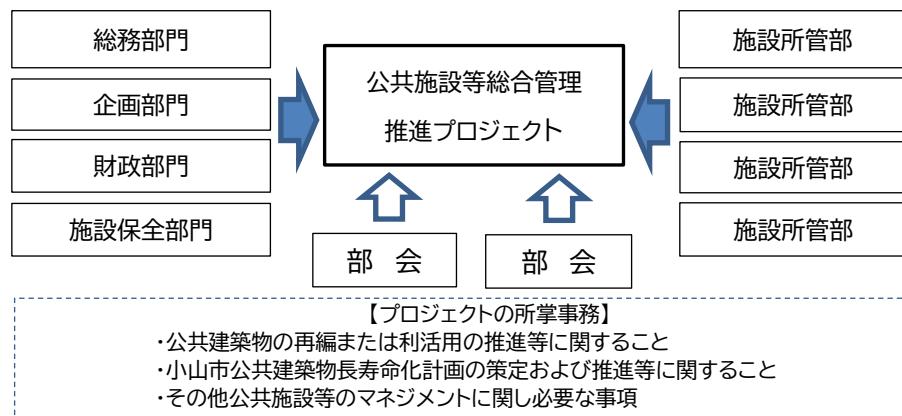
※改修の予定がないものについては、劣化状況等の必要に応じて事後保全で対応します。また、統廃合により廃止となる施設については撤去費用等を見込んでいません。

## 第6章 長寿命化計画の継続的運用

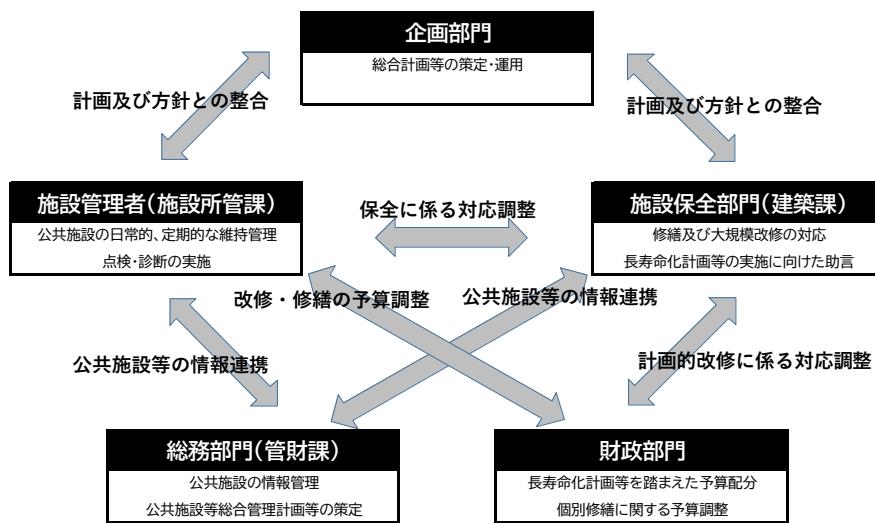
### 1 推進体制等の整備

「小山市公共施設等マネジメント推進計画」策定後、公共施設の総合的な管理の推進にあたり、総務部門、企画部門、財政部門、施設保全部門が中心となり、施設所管部と相互に連携しつつ全庁横断的な連携・調整機能を発揮できる庁内推進体制として公共施設等総合管理推進プロジェクトを設置しました。

また、同プロジェクトの下部組織として、個別事業や検討テーマに応じた部会を設置し、具体的な事案を効率的に推進しています。



公共施設を適正かつ効率的に維持保全していくよう、建物を日常的に管理する部門と、それらの維持保全業務の進捗や改修および修繕工事を監督・実施する部門、予算編成を担う部門等が相互に連携し、運用していきます。



### 2 フォローアップ

施設の劣化状況や厳しい財源状況、人口減少による需要の変化に対応するため、必要に応じて適宜計画の見直しを行います。見直しにあたっては、公共施設等総合管理推進プロジェクトを中心に全庁横断的な連携・調整機能を発揮し行います。

## 用語解説

### か行

#### 改修

劣化した建築物等の初期の水準を超えて改善し、性能・機能の充実を図ることです。

#### 解体

建物を取壊しすることです。

#### 機能移転

現在の施設の機能を移転することです。

#### 公共施設等マネジメント

安全・安心で持続的に公共施設等を維持・更新するための全庁的・総合的な取り組みのことです。

#### 更新

老朽化に伴い機能が低下した公共施設を、同程度の機能に再整備することや、機能が低下した部材などを、新しいものへ取り替えることです。

#### 更新費用

本計画では、将来の修繕、改修や更新(建替え)にかかる費用を総称して「更新費用」という言葉で表しています。

目次【計画の見方および注意事項】参照。

### さ行

#### 事後保全

建築物に不具合・故障が生じた後に、性能・機能を所定の状態に回復させるため、修繕や更新を実施することです。

#### 修繕

劣化した部位・部材または機器を初期の水準まで回復させ、性能・機能の充実を図ることです。

### 集約

類似または同じ機能を 1 つの施設に集める整備を行うことです。

#### 譲渡

無償譲渡することです。

### た行

#### 大規模修繕

建築物の外壁、屋根防水、建物付属設備(電気や空調、昇降機など)の修繕や給排水管の更新等、大規模に行う修繕のことです。

#### 耐震基準(旧・新)

建築基準法で定義される耐震基準は、昭和 56(1981)年 6 月 1 日の改正を境として、旧耐震基準と新耐震基準に大別されます。旧耐震基準は中規模程度の地震(震度 5 強程度)を想定していましたが、新耐震基準(現行の耐震基準)は大規模の地震(震度 6 強から 7 程度)でも人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないことを目標とする基準のことです。

#### 長寿命化

公共施設を計画的に修繕や改修をすることによって、施設の性能や機能を維持し、施設の寿命を延ばすことです。

#### 統廃合

施設の機能集約し、不用な施設を廃止することです。

## は行

### 売却

有償譲渡することです。

### 廃止

施設の機能を廃止することです。

### 複合化

複数の用途・機能を一つの施設として整備することです。

### 平準化

自由に放置すれば、多様化、複雑化、無秩序化する事柄を少数化、単純化、秩序化することです。本書においては、今後の施設関連経費を毎年一定の額以内に均すことで施設整備計画を立てやすくするためのものです。

## や行

### 用途変更

用途を変更する整備を行うことです。

### 予防保全

建築物に不具合・故障が生じる前に、計画的に修繕や改修を実施し、性能・機能を所定の状態に維持することです。保全費用が結果的に縮減されるといわれています。

## ら行

### ライフサイクルコスト(LCC)

建築物の設計・建設費などの初期投資や、施設運営および施設維持管理の費用(ランニングコスト)、さらには解体の費用といった、施設の生涯にわたり要する総費用のことです。

### ランニングコスト

施設の運営や維持管理に要する費用のことです。

**小山市公共建築物長寿命化計画  
— 個別施設計画 —**

令和3（2021）年度—令和37（2055）年度

令和2（2020）年3月 策定  
(令和5（2023）年3月 改訂)

発行 小山市

編集 小山市 総務部 行政改革課

〒323-8686 栃木県小山市中央町1丁目1番1号

電話：0285-23-1111（代表）